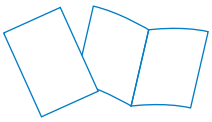
abee®
Designed and Created in Tokyo.

AFFINITY™

AFFINITYユーザーズマニュアル 1

AFFINITY E101

付属の各マニュアルに必ず目を通してください。



本マニュアルでは、PCの使い方やWindowsの基本操作などについて説明しています。
その他、設置の手順やWindowsセットアップ方法などは、付属の紙マニュアルをご覧ください。

⚠ 警告　電気製品は安全上のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

(C)2015 Abee Corporation. All rights reserved.

DATA-0003 REV.1.0

目次 1

Chapter 1 はじめに

はじめに 1-1
ユーザー登録のお願い 1-1
安全上のご注意 1-2
安全にお使いいただくために 1-3
ディスクの取り扱い上の注意 1-8
著作権·商標について 1-8
記憶装置について 1-9
音のエチケットについて 1-9
ソフトウェアについて 1-10

Chapter 2 Windows 8.1の基本操作

スタート画面について 2-1
デスクトップからスタート画面への切り替え 2-4
デスクトップを開く 2-6
Windowsストアアプリの起動と終了 2-8
Windowsアプリの一覧表示 2-11
Windowsアプリの検索 2-13
コントロールパネルを開く 2-15

Chapter 3 日本語の入力

ワードパッドの起動 3-1
IMEについて 3-3
日本語の入力 3-7
「ローマ字入力」と「かな入力」の切り替え 3-14
文書を保存する 3-17
保存した文書を開く 3-19

目次 2

Chapter 4 フォルダーとファイルの操作

フォルダーを開く 4-1
フォルダーやファイルの一覧形式 4-3
フォルダーやファイルの新規作成 4-6
ファイルやフォルダーの選択 4-10
ファイルやフォルダーの削除 4-12
ファイルやフォルダーを検索する 4-15
フォルダーの圧縮と解凍 4-16

Chapter 5 インターネットとメール

Webページを閲覧する 5-1
特定のWebページをスタート画面にピン留めする 5-3
お気に入りに追加する 5-7
Windows Liveメール 5-11
メールアカウントを設定する 5-14
電子メールの作成と送信 5-17

Chapter 6 Windowsの各種設定

画面の解像度を変更する 6-1
デスクトップの背景を変更する 6-3
スクリーンセーバーを設定する 6-5
日付と時刻を設定する 6-7
デスクトップにコンピューターのショートカットを作成する 6-9
ユーザーアカウントを追加する 6-11
ピクチャパスワードを設定する 6-14
ローカルアカウントをMicrosoftアカウントに切り替える 6-20
Microsoftアカウントをローカルアカウントに切り替える 6-27

目次 3

Chapter 7 **Windowsのショートカットキー**

キーボードを使ったショートカットキー一覧 7-1

Chapter 1

はじめに

はじめに	1-1
ユーザー登録のお願い	1-1
安全上のご注意	1-2
安全にお使いいただくために	1-3
ディスクの取り扱い上の注意	1-8
著作権·商標について	1-8
記憶装置について	1-9
音のエチケットについて	1-9
ソフトウェアについて	1-10

はじめに

このたびはAFFINITY(アフィニティ)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、本製品の操作方法および使用上の注意事項などを記載しています。本製品の機能を十分ご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本ユーザーズマニュアルをよくお読みください。

本書は、マウスやキーボードの使用方法や、Windowsの基本的な操作、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に記載しています。

本機を運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本書は、お読みいただいた後も大切に保管してください。本製品の操作方法でわからないことや不具合が生じたときに読み直してご活用ください。

本書の内容は、将来、予告なく変更されることがあります。

画像はイメージのため、実際と異なる場合があります。

ユーザー登録のお願い

弊社では、お買い上げいただいた製品をより便利にご活用いただくため、すべてのお客様にユーザー登録をご案内しております。

ご登録いただいたお客様には、AFFINITYに関する重要な情報やソフトウェアのアップデート情報、プレゼント情報や公式ユーザー限定のセール情報など、弊社及び弊社製品に関する様々な情報をお届けいたします。

ユーザー登録は、下記のURLより、オンラインで簡単にご登録いただけます。
http://www.abee.co.jp/Support/Owner/

オンラインによるユーザー登録では、お客様のすべての通信内容に対して、SSL(Secure Socket Layer)テクノロジーによる暗号化を施し、セキュリティの強化に努めております。

安全上のご注意

表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しく安全にお使いいただき、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、いろいろな表示をしています。その表示と意味を十分に理解してから本書をお読みください。

警告を表すシンボルマーク

⚠ 警告	表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。安全にご使用いただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。安全にご使用いただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
重要	操作上、必ずお守りいただきたい重要事項や制限事項を示しています。誤った操作によるトラブルを防止するために、必ずお読みください。
メモ	操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

安全にお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここで書かれている警告および注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

製品を安全にお使いいただくため、次の注意事項をお守りください。

使用環境

⚠ 注意

- 設置場所および使用環境について、以下の条件でご使用ください。この条件以外で使用すると、感電、火災の原因やPC本体の破損、起動しないなどのトラブルの原因となります。
  - -室内
  - -温度　0～40℃
  - -湿度　20～80%（結露なきこと）

設置について

⚠ 警告

- 水場のそばなど湿気の多い場所には設置しないでください。感電、火災の原因となります。
- ベンジン、シンナー、アルコール等の引火性溶剤の近くに設置しないでください。溶剤が製品内部の電子部品等に接触すると火災や感電の原因になります。
- 湿気、油煙の多い場所には設置しないでください。感電、火災の原因となります。
- 乳幼児や小さなお子さまの手の届く場所に置かないでください。けが等の原因になります。

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本製品底面にコードや異物などを挟み込まないように注意して設置してください。
- 本製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの回りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。
- 布団などの放熱しにくい場所で使用しないでください。発熱し発煙や火災、故障等の原因になります。
- 付属のACコードのみでは届かないところには設置しないでください。延長コード等を使用しコンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となる恐れがあります。
- 緩衝材、保護材をすべて取り除いたことを確認してください。取り除かずに本体を稼動させると故障等の原因になることがあります。
- 本製品を次のような場所に設置しないでください。火災、感電、故障等の原因になることがあります。
  - -屋外や風の強い場所
  - -異常に高温または低温の場所
  - -油煙や湯気の当たる場所
  - -湿気や水気、塵埃の多い場所
  - -直射日光の当たる場所
  - -振動や衝撃のある場所
  - -傾斜地や不安定な場所
  - -静電気や強い磁気を帯びた場所
  - -乳幼児や小さなお子さまの手の届く場所
  - -アルコール、シンナーなどの引火性溶剤のある場所
  - -本体の重量に耐えられない場所

使用上の警告・注意

⚠ 警告

- 本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。発煙、発火、破裂の原因になります。
- 本製品をお客様ご自身で改造しないでください。感電、火災の原因となります。
- 本製品は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体の電源コードをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因となります。
- 本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、PC本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。
- PC本体の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにPC本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を挿し込んだり、落とし込んだりしないでください。感電、火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでPC本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。落雷の可能性がある場合は、あらかじめPC本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。落雷による感電、火災の原因となります。
- 梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。
- 取り外したカバー、キャップ、ネジなどの部品は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- サイドボードやAVラック等を使う場合は、はみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。PCが落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 転倒防止の処置をしてください。地震が発生した場合などに、PCが倒れてけがや故障の原因となります。ラックや床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。
- PC本体やACアダプタの温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。また、お子様が排気孔付近に近寄らないよう注意してください。低温やけどの原因になります。
- 本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。感電、火災の原因となります。
- 本製品の上や周りに、花びん·コップなど液体の入ったものを置かないでください。水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因となります。
- 本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。火災の原因となります。
- 本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。
- 車載用AC電源などに接続しないでください。火災の原因となることがあります。
- 清掃のときは、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。火災、故障の原因となります。
- PC本体や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。ケーブルに足を引っかけ転倒したり、PC本体や周辺機器が落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。また、お子様が容易にケーブルに触れないようにしてください。誤って首に巻きつけると窒息の原因となります。
- 添付もしくは指定された以外のACアダプタや電源コードを本製品に使ったり、本製品に添付のACアダプタや電源コードを他の製品に使ったりしないでください。感電、火災の原因となります。
- ACアダプタ本体や、ACコードが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。感電、火災の原因となります。
- ACアダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障、感電、火災の原因となります。

使用上の警告・注意（つづき）

⚠ 警告

- 電源コードが傷ついている場合は使用しないでください。感電、火災の原因となります。
- 電源コードは、壁のコンセント（AC100V）に直接かつ確実に接続してください。感電、火災の原因となります。
- タコ足配線をしないでください。感電、火災の原因となります。
- クリーニング前には必ずPC本体や周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因になります。
- 濡れた手で電源コードを抜き挿ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。感電、火災の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。感電、火災の原因となります。
- ACアダプタ本体に電源コードをきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。電源コードの芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因となります。
- 電源コードはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。ほこりがたまったままの状態で使用すると感電、火災の原因となります。
- 電源コードを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線して、感電、火災の原因となることがあります。
- 周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、PC本体および接続されている機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。この手順を守らずに作業を行うと、感電、火災または故障の原因となります。
- 周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因となります。また、PC本体および周辺機器が故障する原因となります。
- 航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本製品を持ち込むときは、電源を切るか、無線機能(無線LAN・Bluetoothなど)の電波を停止してください。電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。また、自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
- 医療機関の屋内で本製品の無線機能(無線LAN・Bluetoothなど)を使用するときは、次のことを守ってください。
  - -手術室・集中治療室(ICU)・冠状動脈疾患監視室(CCU)には持ち込まない。
  - -病棟内では電源を切るか電波を停止する。
  - -病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、電源を切るか電波を停止する。
  - -医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
  - -自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから電源を切る。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、無線機能(無線LAN・Bluetoothなど)を使用するときは、装着部と本製品の間を22cm以上離してください。
  電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、電源を切るか電波を停止してください。
- 無線機能(無線LAN・Bluetoothなど)は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

- 使用中のPC本体やACアダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。設置の際はPC本体と壁の間に10cm以上の隙間を空け、通風孔などの開口部をふさがないでください。また、通風孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本製品をサイドボードやAVラック等に収納する場合は、前面にドアなどがないもの、および背面がふさがれていないものをお使いください。サイドボードやAVラック等を設置する場合は、背面を壁などでふさがないように、壁から10cm以上離してください。また、PCと内側の壁との間は、10cm以上のすき間を空けてください。火災、故障の原因となることがあります。
- 本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。感電、火災の原因となることがあります。

使用上の警告・注意（つづき）

⚠ 注意

- 本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。感電、火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。
- メディアを挿入するスリット、LAN のコネクタなど、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。けが・感電の原因となることがあります。特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本製品をお使いになる場合は、次のことに注意してください。目の疲れや首、肩、腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。
  - -画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
  - -なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
  - -背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
  - -いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
  - -手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
  - -キーボードやマウスは、肘の角度が90度以上になるように使用する。
- 本製品を移動する場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。電源コードが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。電池を取り外せる場合は、電池も取り外してください。火災の原因となることがあります。
- ヘッドホンやヘッドホンマイク、イヤホン等を使用する場合は音量を上げ過ぎないよう注意してください。大きな音量で長時間使用すると、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ヘッドホンやヘッドホンマイク、イヤホン等を装着した状態でプラグの抜き挿し、本製品の電源のON/OFF、省電力状態・復帰の操作をしないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 光学ドライブなどのレーザー光源を直接見ないでください。目の痛みなど障害を起こす可能性があります。
- 電源コードは、コンセントの奥まで確実に挿し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。火災、故障の原因となることがあります。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱して、火災の原因となることがあります。
- 長時間使用する場合は、必ず途中で休憩を取るようにしてください。肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。
- 長時間の使用などにより、身体に違和感や痛みを感じた場合は直ちに使用を中止してください。使用を中止しても改善しない場合は直ちに医師に相談してください。

保守・点検について

⚠ 警告

- お手入れのときは、電源をオフにして、ケーブル類を抜いてください。感電、火災の原因になります。
- ケーブル類を定期的に抜き、その周辺にたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。
- ほこり、湿気、油煙の多いところで、ケーブル類を長期間挿したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 清掃のときは、乾いたやわらかい布や水を含ませて十分に絞った柔らかい布等をご使用ください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災、感電の原因になります。
- 可燃物質を含むスプレーは使用しないでください。静電気などの影響により、スプレーに引火しやけどや火災の原因になることがあります。
- 清掃の後は、ケーブル類が奥までしっかり挿し込まれているか確認してください。緩んだ状態で使用すると発熱し、発煙、火災の原因になることがあります。
- 電源コードを定期的に点検してください。以下の状態がある場合は、発煙、火災の原因になります。
  - -電源プラグに焦げ跡がある。
  - -電源プラグの刃が変形している。
  - -コードを曲げると電源が切れたり入ったりする。
  - -コードの被覆に傷、亀裂、へこみがある。
  - -コードの一部が熱くなる。

保守・点検について（つづき）

⚠ 警告

- ACコードが以下のように取り扱われていないか、定期的に点検してください。感電、火災の原因になります。
  - -コネクタ、プラグが緩んでいる。
  - -コードが重い物の下敷きになっていたり、ステープルなどで固定されるなど、ストレスを与えられている。
  - -コードが束ねられている。
  - -コードが通路にはみ出している。
  - -コードが暖房器具の前にある。

⚠ 注意

- 製品内部は使用中に高温になります。内部を点検するときは、電源をオフにしてから、電源コードを抜き、温度が十分下がってから点検してください。やけどの原因になります。

ディスクの取り扱い上の注意

ディスクを取り扱う際は、次のことに気をつけてください。

- データ記録中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- ディスクの書き込み面に直接触れないでください。
- ディスクに重いものを載せたり、曲げたり、傷をつけないでください。
- ディスクを落とさないでください。
- ディスクを汚したり、汚れたディスクを本機に挿入しないでください。
- ディスクが汚れた場合は、やわらかい布で内周から外周に向かって放射線状にふき取ってください。
- レコード用のクリーナーや溶剤等は使用しないでください。
- ディスクを使用しないときは、パッケージに入れて保存してください。
- 直射日光の当たる場所や温度·湿度の高いところに保管しないでください。

著作権・商標について

- 著作権法により保護される映像、画像、音声等を本機を使用し取り込んだ場合、個人として私的に使用する場合を除き、権利者に無断でそれらを使用することは、著作権法上禁止されております。また、権利者の許可なく取り込んだ映像、画像、音声等に変更及びその他改変を加え、著作物の同一性を損うことも禁じられています。
- 著作権保護のための信号が含まれた映像を録画することはできません。
- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属するソフトウェア及びマニュアルの内容を複製すること、ならびにソフトウェアをコピー、リースまたは再利用を許諾することは、著作権法上禁止されております。
- Microsoft Windowsは、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。

記憶装置について

記憶装置は、一般的に消耗部品となります。記憶装置内のデータ消失、破損等について、弊社は一切責任を負いません。
お客様の責任において定期的にバックアップを行ってください。

音のエチケットについて

すばらしい音であっても、聴く人や時と場合によってはうるさく感じられることがあります。特に静かな夜間などは小さな音でも通りやすくなるため、音が漏れないようドアや窓を閉めたり、ヘッドフォンを利用することをおすすめいたします。

ソフトウェアについて

foobar2000 (Abee Custom Ver. 2LE)

ハイレゾ音源を再生するためのオーディオプレーヤー

aLink

foobar2000をスマートフォンで操作するウェブコントローラー

DiMO

圧縮された音源をハイレゾ相当の高解像度音源にアップサンプリングするソフト

ESET Smart Security(30日評価版)

ウイルスセキュリティソフト

Chapter 2

Windows 8.1の基本操作

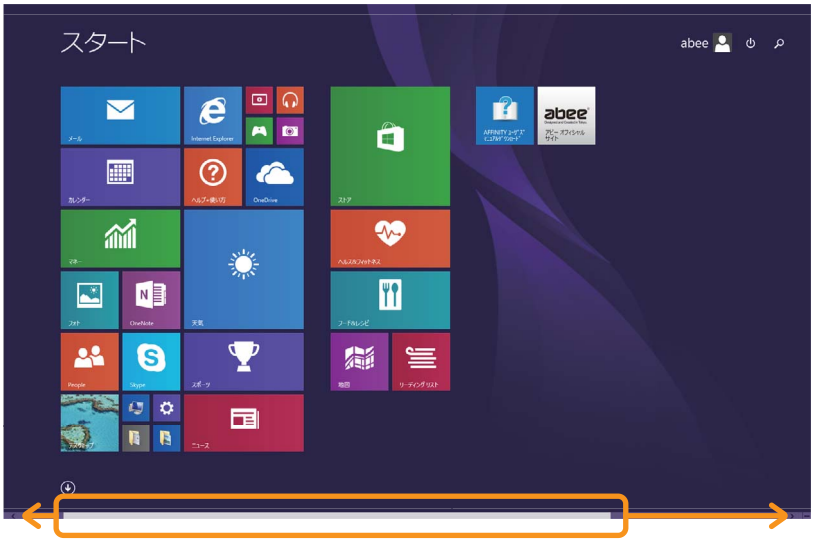
スタート画面について	2-1
デスクトップからスタート画面への切り替え	2-4
デスクトップを開く	2-6
Windowsストアアプリの起動と終了	2-8
Windowsアプリの一覧表示	2-11
Windowsアプリの検索	2-13
コントロールパネルを開く	2-15

スタート画面について

スタート画面は、Windows 8.1の中心的な画面です。
この場所でアプリケーションやデスクトッププログラムを開いたり、友だちの近況を確認したり、またお気に入りのウェブサイトやファイルにアクセスします。

重要 プリインストールされたアプリケーション及びタイルの並び方は、使用環境によって異なります。また、画面表示の範囲についてもお使いのモニタによって異なります。

スタート画面全体が表示されていない場合は、マウスカーソルを画面下に移動させます。表示されたスライドバーを左右に動かします。



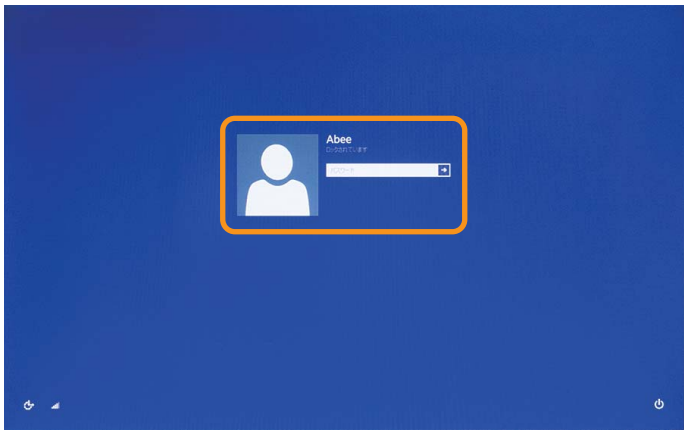
メモ マウスホイールを使い画面がスライドできます。

ロック画面が表示されたら

Windows 8.1では、ログイン前にロック画面が表示されます。
ロック画面が表示されたら、画面上で「クリック」もしくは、「Enter」キーを押して解除します。

重要 ロック画面の画像は、使用環境によって異なります。

次に表示されるサインイン画面でユーザーをクリックし、パスワードを入力します。



メモ パスワードを設定していない場合は、表示されません。

Windows 8.1には、ローカルアカウントとMicrosoftアカウントがあります。

<ローカルアカウント>

パソコンに登録した個人を識別するためのユーザー名とパスワードの組み合わせを「ローカルアカウント」と言います。ローカルアカウントは、パソコンごとに設定されます。複数のパソコンをお使いの場合、設定は同期されません。そのため、「PC設定の同期」の共有設定や一部のWindowsストアアプリで表示できないものがあります。新しいユーザーを追加する場合は、6-11ページをご確認ください。

<Microsoftアカウント>

Windows 8.1へサインインするだけではなく、Microsoftが提供するサービスへのサインインに使用する電子メールアドレスとパスワードの組み合わせを「Microsoftアカウント」と言います。Microsoftアカウントは、複数のパソコンで共有できます。「PC設定の同期」などで関連付けられた電子メールアカウントに電子メールの送受信を行うことができ、同じアカウントを使用するパソコン間の設定を同期することができます。ローカルアカウントからMicrosoftアカウントへの切り替えは、6-20ページをご確認ください。

デスクトップからスタート画面への切り替え

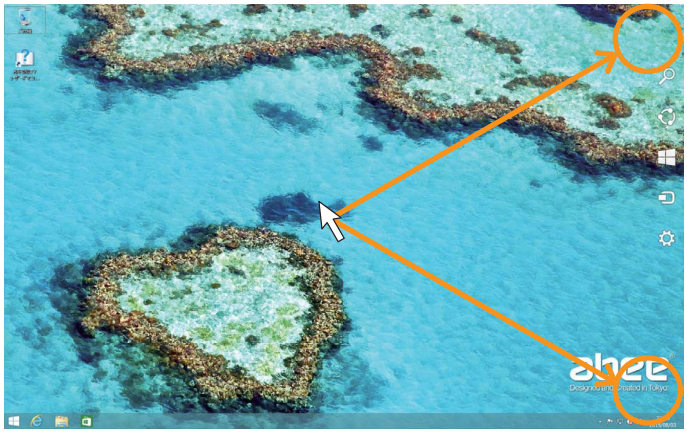
デスクトップからスタート画面へ切り替える方法について説明します。

<表示方法 その1>

1. 画面左下のWindowsロゴをクリックします。

<表示方法 その2>

1. 画面右上、または画面右下にマウスカーソルを移動させます。



2. チャームが表示されたら「スタート」をクリックします。

メモ

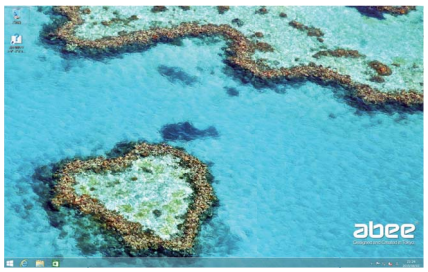
- キーボードの「Windows」キーを押しながら「C」キーを押すと、チャームを表示させることができます。
- チャームには、「検索」・「共有」・「スタート」・「デバイス」・「設定」の5つのボタンがあります。「設定」の内容については、起動アプリによって異なります。

デスクトップを開く

スタート画面からWindowsデスクトップを表示させることもできます。

<表示方法 その1>

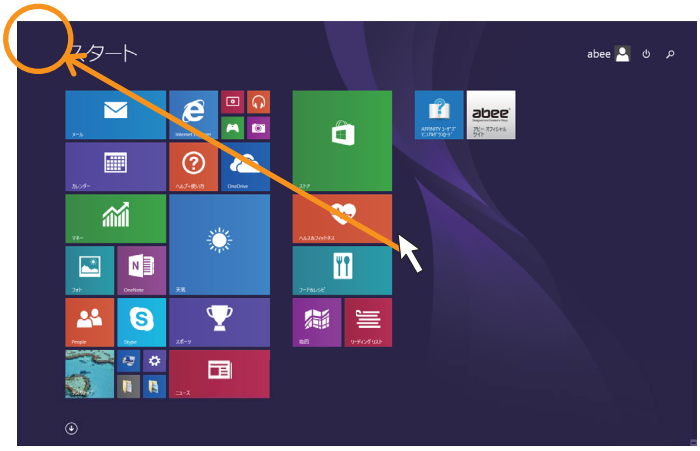
1. デスクトップのタイルをクリックして開きます。



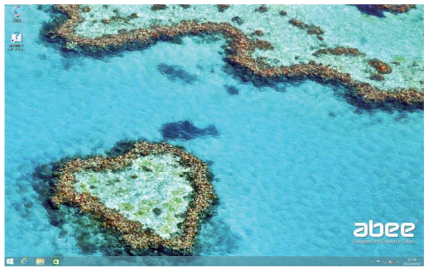
重要 タイルの位置やデスクトップの壁紙は、使用環境によって異なります。

<表示方法 その2>

1. マウスカーソルを画面左上に移動させます。

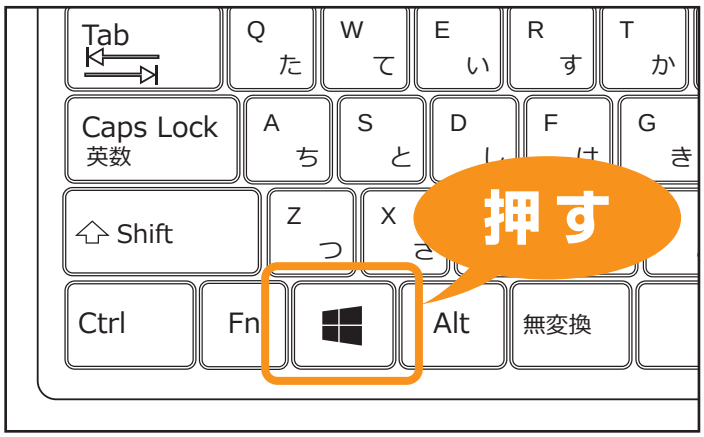


2. 小さく開いたタイルをクリックします。



<表示方法 その3>

1. キーボード上の「Windowsキー」を押すと、スタート画面とデスクトップを切り替えることができます。



重要

・キー配列は、製品によって異なります。Windowsキーがないキーボードもあります。
・Windowsストアアプリを開いていた場合、Windowsストアアプリとスタート画面が切り替わります。

Windowsストアアプリの起動と終了

Windows 8.1では、新しいタイプのアプリケーションが登場しています。このWindowsストアアプリは、パソコンだけでなくタブレットや携帯電話などの端末からも便利に利用することができるよう、さまざまに工夫されています。

ストアアプリの起動

1. 起動させたいストアアプリのタイルをクリックします。

今回は『地図』を起動してみます。

重要

・インターネットに接続する必要があります。
・初回起動時Microsoftアカウントでサインインする必要のあるアプリケーションがあります。サインインを行ってからご使用ください。既にMicrosoftアカウントでログインしている場合は、サインイン画面は表示されません。

メモ

Microsoftアカウントとは、Windows 8.1のサインインなどに使用するメールアドレスとパスワードの組み合わせです。Microsoftアカウントを利用することで、Windowsストアでのアプリのダウンロード、Windowsアプリコンテンツの自動ダウンロードや、パソコンの設定をオンラインで複数のパソコンに同期することができます。Windows 8.1へのサインインのほかに、Windowsストア、Windows Phone、Xbox Live、Outlook.com、Skype、OneDriveなどのMicrosoftのサービスにサインインするために使用します。既にWindows LiveIDアカウントをお持ちの場合は、そのアカウントをMicrosoftアカウントとして使用できます。

※「ローカルアカウントをMicrosoftアカウントに切り替える」は、6-20ページをご確認ください。

ストアアプリの終了

1. 開いているストアアプリを終了するには、画面左下にマウスカーソルを移動させ、Windowsロゴをクリックします。

メモ　上記画面はストアアプリの地図を開いています。

2. 画面左上にマウスカーソルを移動させ、開いていたストアアプリ画面を表示させます。

3. 小さい画面の上で右クリックし「閉じる」をクリックします。

メモ

・複数のストアアプリを起動していた場合、マウスカーソルを画面左上に移動させ、更にマウスカーソルを下に移動すると、起動中のストアアプリがすべて表示されます。
・「Windows」キーを押しながら「Tab」キーを押すことで、起動中のストアアプリー覧を表示させることができます。

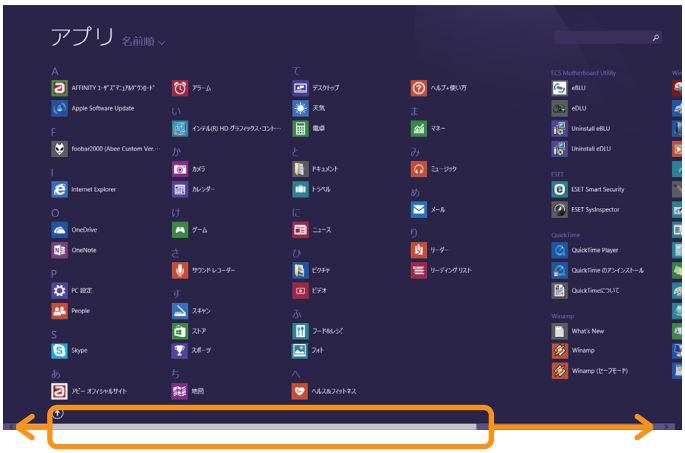
Windowsアプリの一覧表示

Windowsアプリとは、Windowsストアアプリとデスクトップ上で動作するアプリケーションの両方を指します。それらアプリケーションの一覧を表示させることができます。

アプリ一覧表示の手順

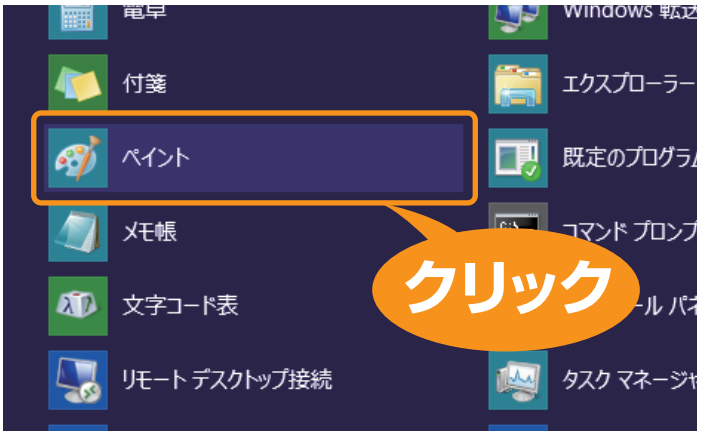
1. 画面左下の↓アイコンをクリックします。

2. アプリ一覧が表示されます。画面全体が表示されていない場合は、画面下のスライドバーを動かします。

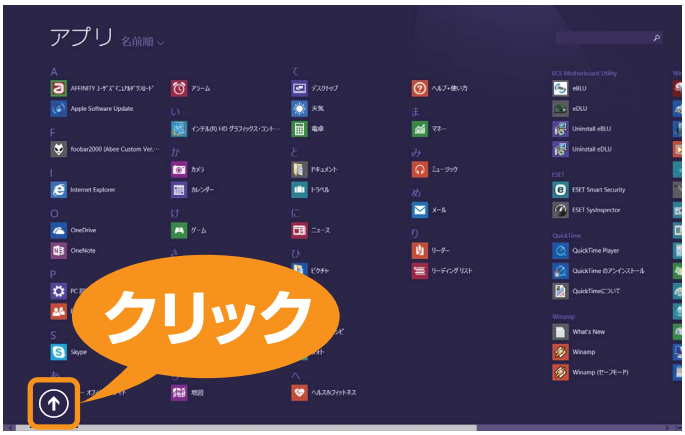


重要 画面表示の範囲は、お使いのモニタによって異なります。

3. 起動させたいアプリをクリックします。



4. スタート画面に戻るには、画面左下の↑アイコンをクリックします。



Windowsアプリの検索

Windows 8.1には、さまざまなアプリケーションがインストールされています。ここでは、Windowsアプリを検索する手順について説明します。

Windowsアプリ検索の手順

1. 画面右上または、右下にマウスカーソルを移動させます。

2. チャームが表示されたら「検索」をクリックします。

メモ　「Windows」キーを押しながら「C」キーを押すことで、チャームを表示させることができます。

3. 検索バーにアプリ名を入力します。表示結果からアプリをクリックします。

重要 画面表示の範囲は、お使いのモニタによって異なります。

メモ

- アプリ名を途中まで入力すると、名前でヒットするアプリ名が表示されます。クリックすると起動できます。
- アプリー覧画面右上の検索アイコンをクリックし、アプリ名を入力し検索することもできます。

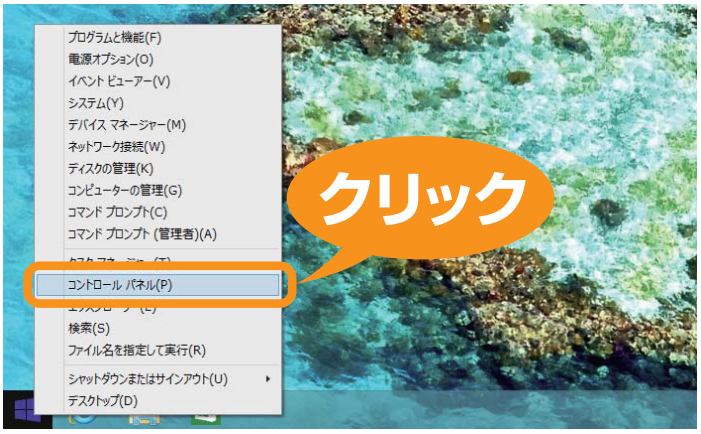
コントロールパネルを開く

コントロールパネルとは、PCの基本的な設定をコントロール(制御)するソフトウェアが集められたメニューです。さまざまな項目が用意されており、PCの操作に慣れてくるとコントロールパネルを表示する頻度は高くなります。

<表示方法 その1>

1. 画面左下にマウスカーソルを移動させ、「スタート」ボタンを右クリックします。

2. 「コントロールパネル」をクリックします。



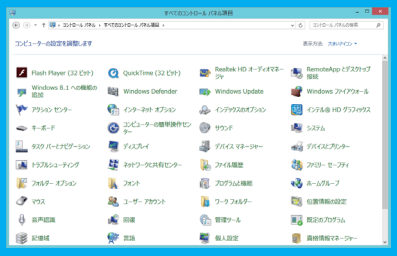
3. コントロールパネルが開きます。

メモ

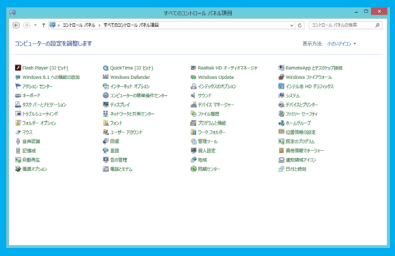
Windowsアプリー覧から「コントロールパネル」を開くこともできます。
Windowsアプリー覧の表示方法については、2-11ページをご確認ください。

メモ

コントロールパネルの表示には、「カテゴリ」以外にも、「大きいアイコン」「小さいアイコン」があります。



大きいアイコン



小さいアイコン

<表示方法 その2>

1. 「Windows」キーを押しながら、「X」キーを押します。

重要

キー配列は、製品によって異なります。Windowsキーがないキーボードもあります。

2. 「コントロールパネル」をクリックするか「P」キーを押します。

3. コントロールパネルが開きます。

メモ 他のメニューも同じように、メニュー横のアルファベットを押すことで開くことができます。

Chapter 3

日本語の入力

ワードパッドの起動	3-1
IMEについて	3-3
日本語の入力	3-7
「ローマ字入力」と「かな入力」の切り替え	3-14
文書を保存する	3-17
保存した文書を開く	3-19

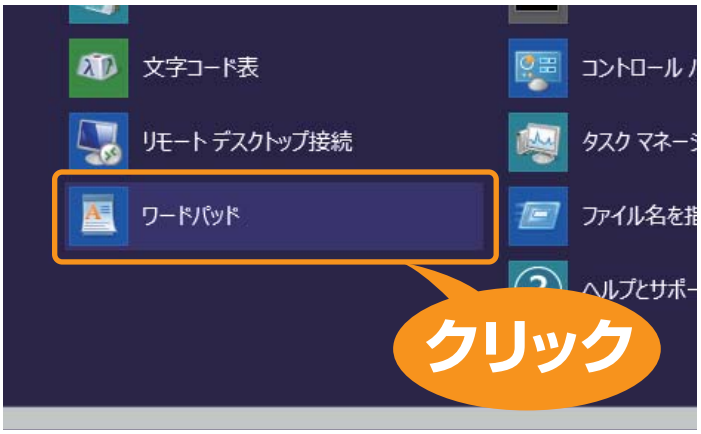
ワードパッドの起動

ワードパッドは、ドキュメントを作成および編集するためのテキスト編集プログラムです。
メモ帳とは異なり、リッチテキストの書式設定が行えたり、画像や別のドキュメントなどのオブジェクトを挿入することができます。

起動方法

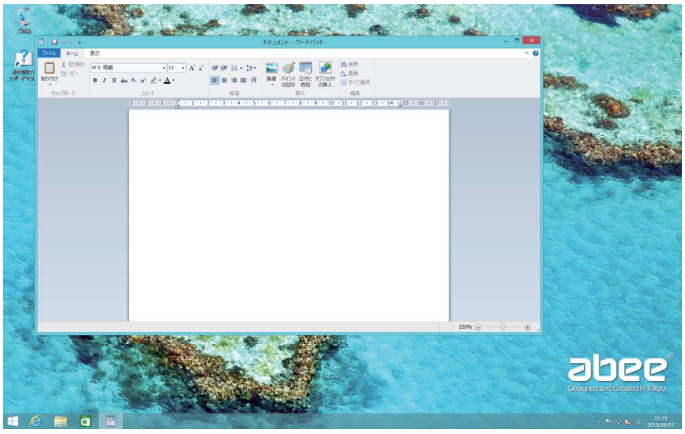
1. 画面左下の↓アイコンをクリックし、アプリ一覧を表示します。

2. Windowsアプリ一覧から「ワードパッド」をクリックします。



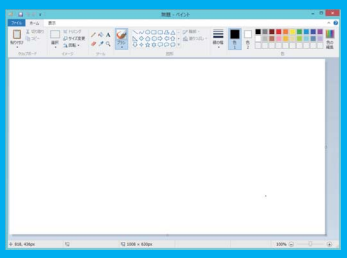
メモ　「アプリ検索」からワードパッドを起動させることもできます。「アプリ検索」を使った起動方法の詳細については、2-13ページをご確認ください。

3. ワードパッドが起動します。

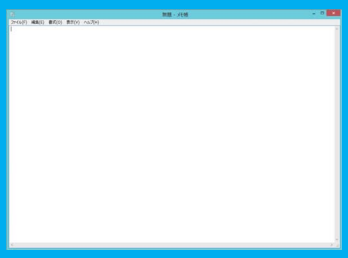


メモ

Windows 8.1には、「ワードパッド」以外にも、お絵かきソフトの「ペイント」、テキストエディタの「メモ帳」、計算ソフトの「電卓」などが標準の付属ソフトとしてインストールされています。



ペイント



メモ帳

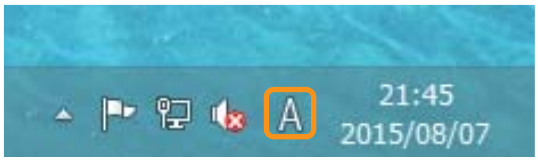
電卓

IMEについて

IMEとは、PCで日本語を入力するためのソフトウェアです。
ローマ字入力やかな入力といった入力方法を選択することができ、入力時の候補変換などを補助します。

IMEの有効

Windows 8.1は、IMEが無効の状態で起動します。画面右下に「A」と表示されています。



IME有効･無効(半角/全角)の切り替えは、文字の上でクリックします。

メモ IME有効･無効の切り替えは、「半角/全角」キーを押すことでも切り替えることができます。

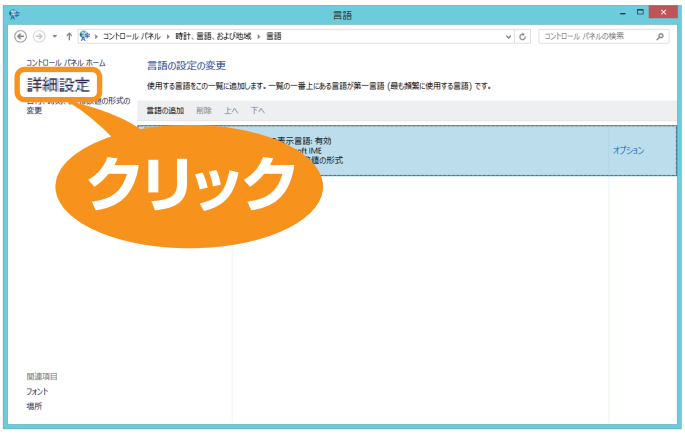
文字の上で右クリックすることで、入力方法を選択するメニューや、IME関連の設定などを行うことができます。

デスクトップ上に「言語バー」を表示する

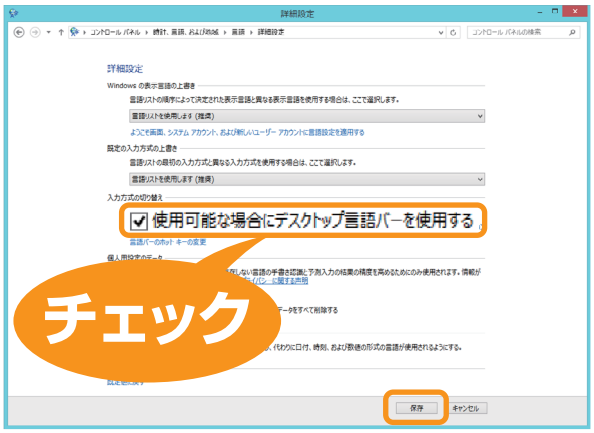
1. 「コントロールパネル」を開き「言語の追加」をクリックします。

メモ　コントロールパネルの開き方については、2-15ページをご確認ください。

2. 「詳細設定」をクリックします。



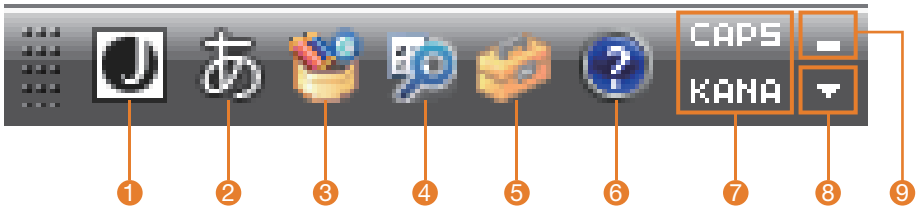
3. 「使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する」にチェックを入れ、「保存」をクリックします。



メモ 「使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する」にチェックが入ると、オプションが利用できるようになります。「オプション」をクリックし、「テキストサービスと入力言語」を開きます。

4. デスクトップ上に「言語バー」が表示されます。

言語バーの詳細



❶ 入力方式

IMEのプロパティを表示･変更するときなどに使用します。

❷ 入力モード

入力する文字の種類を選択します。「ひらがな」「全角カタカナ」「全角英数」「半角カタカナ」「半角英数」「直接入力」のいずれかを選択します。「直接入力」を選択した場合は、キーボード上の文字が直接入力できます。

❸ IMEパッド

読み方のわからない漢字を、手書きや総画数、部首、音声入力などの方法で入力します。

❹ 確定前の文字列を検索

検索プロバイダーを追加することで、確定前の文字列を使って、追加した検索サイトで調べることができます。

❺ ツール

単語や用例を辞書に登録するときなどに使います。

❻ ヘルプ

ヘルプを表示します。

❼ CAPS/KANA

[CAPS]キー、[カナ]キーのロック状態を表示、切り替えを行います。

❽ オプション

IMEの設定等が行えます。

❾ 最小化

最小化ボタンをクリックすると、言語バーがタスクバー内に収容されます。

メモ

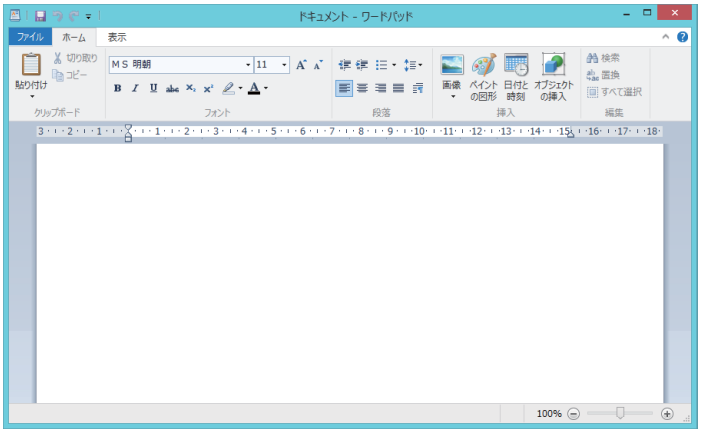
言語バーをタスクバーに収めるには、言語バーの右端にある最小化⑨ボタンをクリックします。言語バーがタスクバーに収まります。タスクバーに収まると、最小化ボタンが復元ボタンに変わります。「復元ボタン」をクリックし、言語バーをデスクトップ上に戻します。

日本語の入力

ここでは、ワードパッドを使用し日本語を入力する方法を説明します。

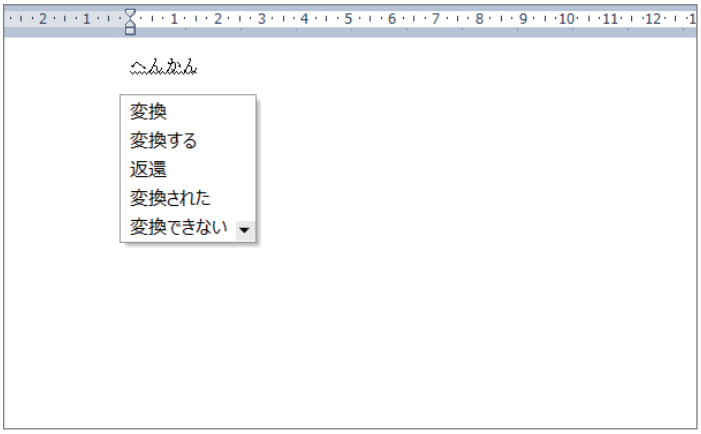
文字の入力と変換

1. ワードパッドに文字を入力します。例として「変換」と入力します。

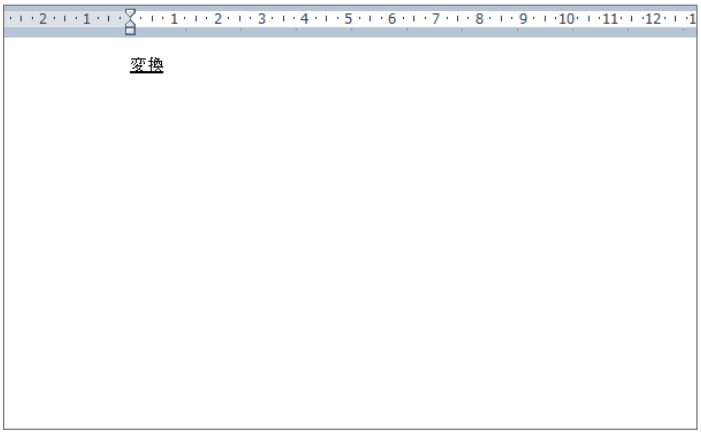


メモ 日本語の入力には、ローマ字入力と、かな入力があります。ローマ字入力の場合には、英字キーを使って、ローマ字読みを入力します。切り替え方法については、3-14ページをご確認ください。

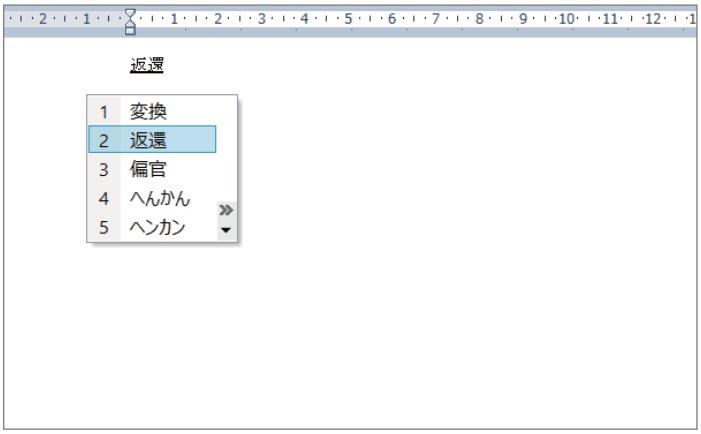
2. キーボードから「HENKAN」と入力します。



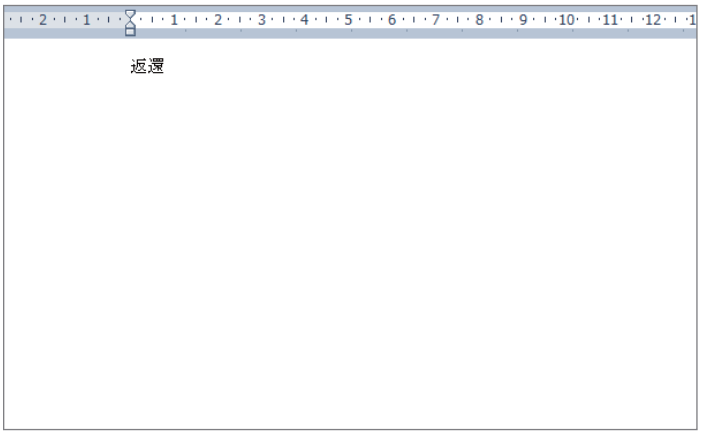
3. スペースキーを押します。最初の変換候補に変換されます。



4. スペースキーを押し、変換候補を選択します。

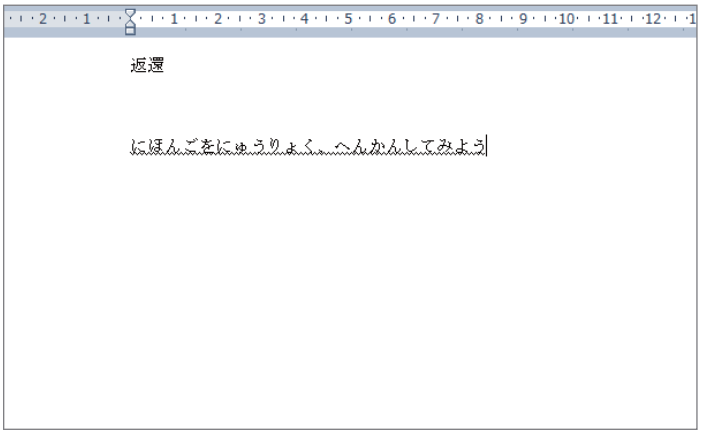


5. 「Enter」キーを押し、入力を確定します。

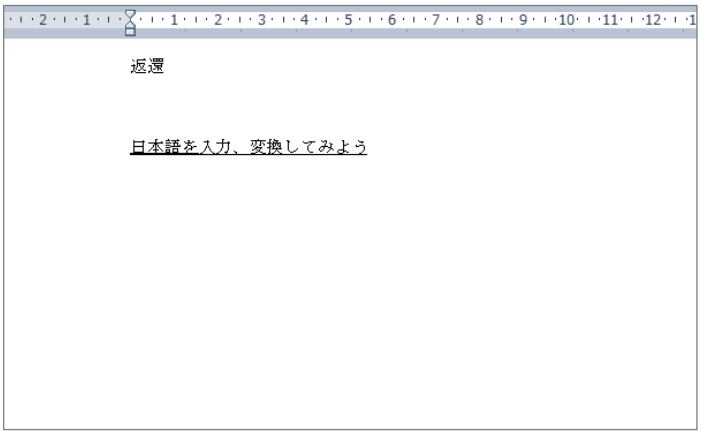


少し長めの文章を入力する

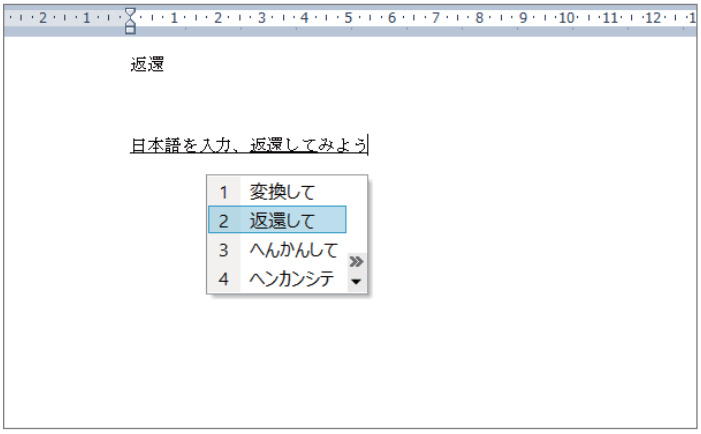
1. 例として「日本語を入力、変換してみよう」と入力します。



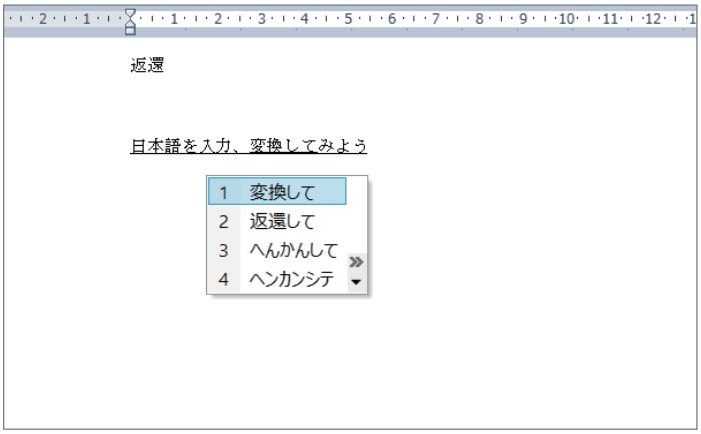
2. スペースキーを押します。読み仮名が漢字に変換されます。



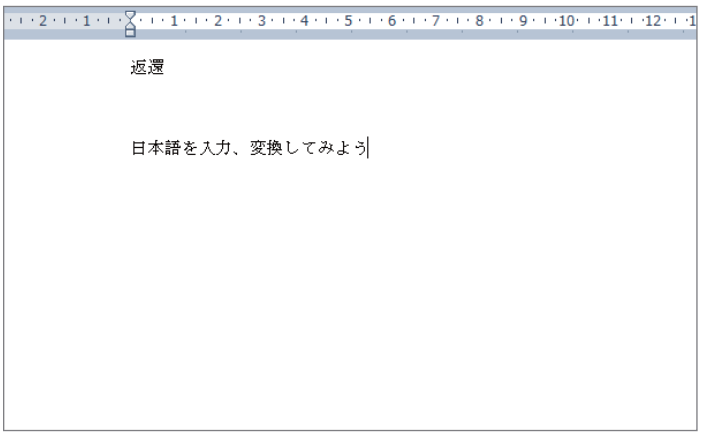
3. 「→」キーを押します。「返還してみよう」を選択します。



4. スペースキーを押します。選択した文節が、次の候補に変換されます。

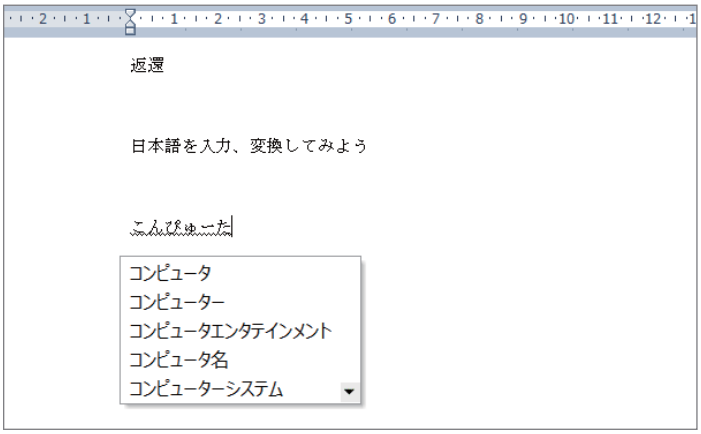


5. 「Enter」キーを押し、文全体の変換を確定します。

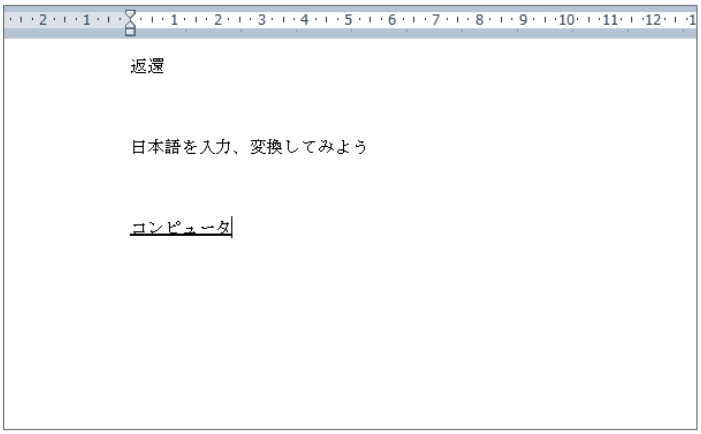


カタカナや英字の入力

1. キーボードから「KONPYU-TA」と入力します。



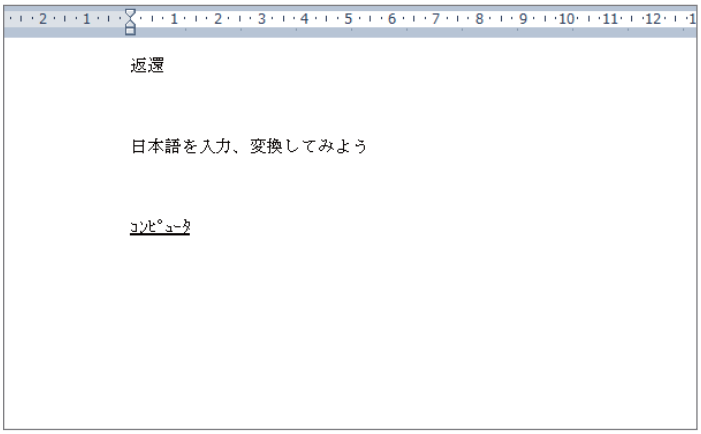
2. 「F7」キーを押します。全カタカナに変換されます。



メモ

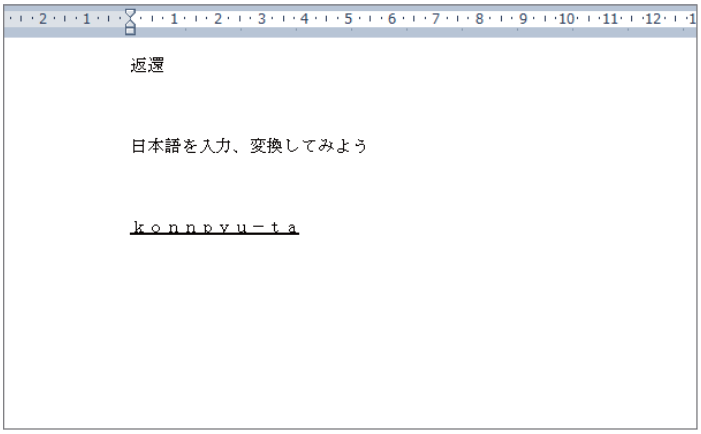
スペースキーでの変換以外にも、ファンクションキー「F6」～「F10」を使った変換が可能です。
各ファンクションキーについては、以下の通りです。
「F6」キー：ひらがなに変換 / 「F7」キー：全角カタカナに変換 / 「F8」キー：半角カタカナに変換
「F9」キー：全角英字に変換 / 「F10」キー：半角英字に変換

3. 「F8」キーを押します。半角カタカナに変換されます。

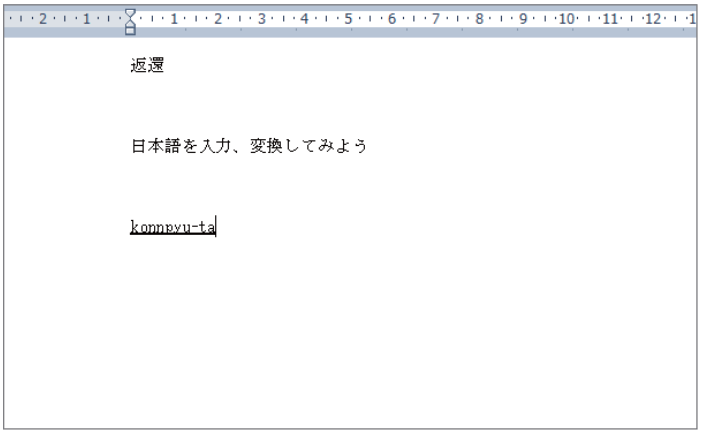


> **メモ** フォントの変更を行う場合は、画面上部のフォント名の横にあるボタンをクリックし、変更したいフォントを選択します。

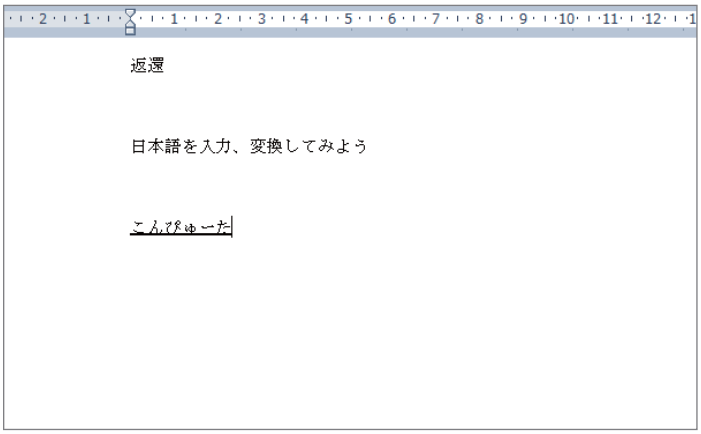
4. 「F9」キーを押します。全角英字に変換されます。



5. 「F10」キーを押します。半角英字に変換されます。



6. 「F6」キーを押します。全角ひらがなに変換されます。



「ローマ字入力」と「かな入力」の切り替え

日本語の入力方式として「ローマ字入力」と「かな入力」があります。お客様が入力しやすい方式に切り替えてご使用ください。

＜切り替え方法 その1＞

1. タスクバーの「あ」を右クリックします。

2. 「ローマ字入力/かな入力」で入力を切り替えます。

<切り替え方法 その2>

1. 「Alt」キーを押しながら、「カタカナ・ひらがな・ローマ字」キーを押します。

重要　キー配列は、製品によって異なります。

<切り替え方法 その3>

1. 「KANA」ボタンを押して切り替えます。

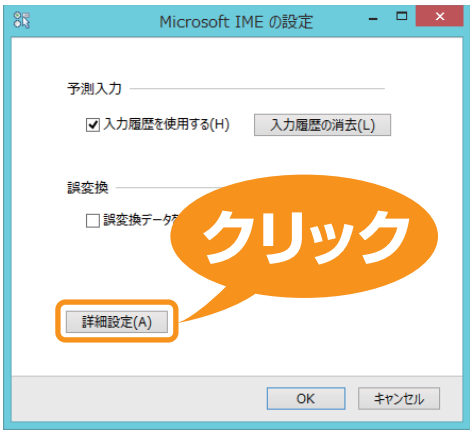
ローマ字入力の状態

かな入力の状態

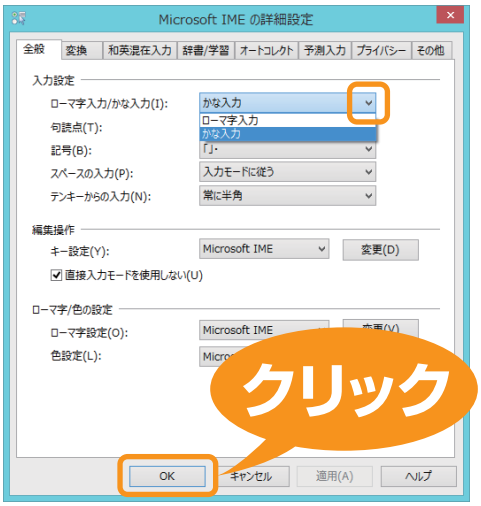
<切り替え方法 その4>

1. 言語バーの「ツール」アイコンをクリックし、「プロパティ」をクリックします。

2. 「詳細設定」をクリックします。



3. 「ローマ字入力/かな入力」で入力を切り替え、「OK」をクリックします。

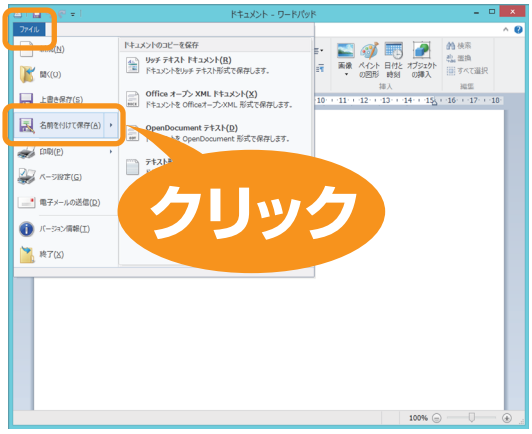


文書を保存する

文書を作成しても、そのままでは保存されません。文書作成後は、以下の方法で保存してください。

ファイルに保存

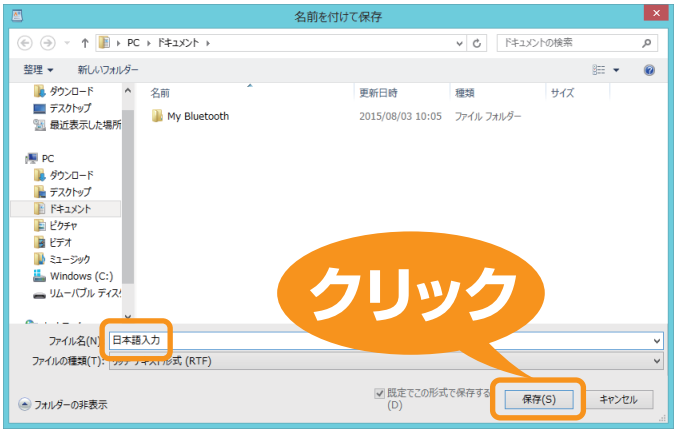
1. 左上の「ファイル」メニューを選択し、「名前を付けて保存」をクリックします。



メモ

作成した文書は、次回以降、内容を保持したまま閲覧、編集を行うために保存が必要になります。また、突然のアプリケーションの終了などの予期せぬトラブルの際にも文書を保存していないと、一から文書を作り直すことにもなりかねません。作成した文書は、適切な名前をつけて、随時、保存作業を行ってください。

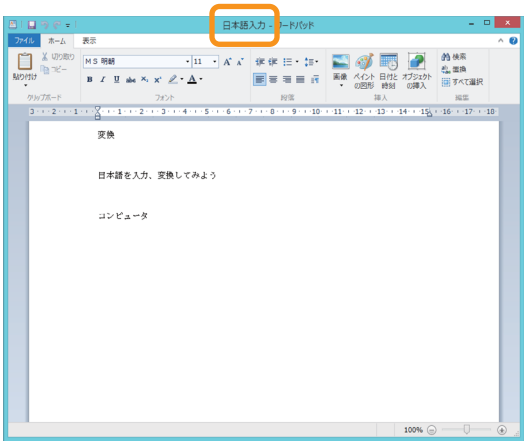
2. 任意の「ファイル名」を入力し、「保存」をクリックします。



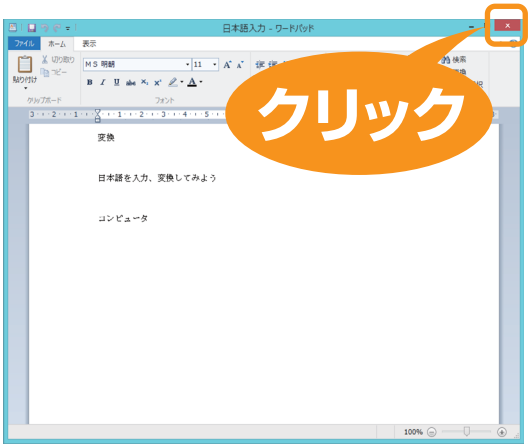
メモ

ファイル名は、最大で半角255文字、全角127文字まで入力できます。また、『』\/:*?<>等の文字は、ファイル名に使用することができません。

3. タイトルバーにファイル名が表示されたら、文書保存は完了です。

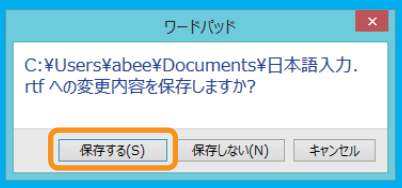


4. 「閉じる」ボタンをクリックし、画面を閉じます。



メモ

文書を保存する前に、ワードパッドを閉じようとすると、右図のようなダイアログボックスが表示されます。「保存する」をクリックすることにより、文書を保存してからワードパッドを閉じることができます。

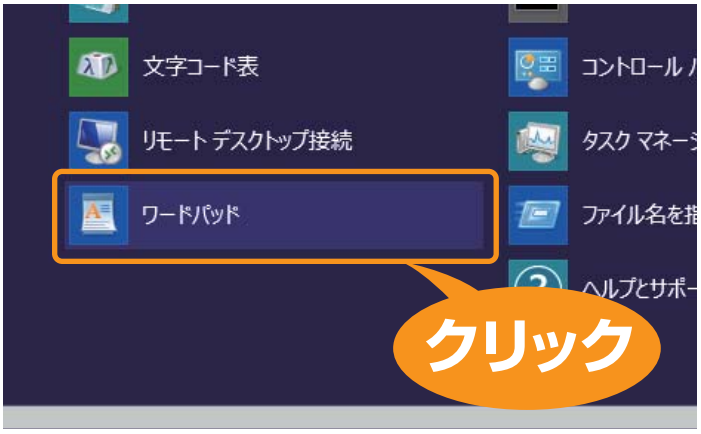


保存した文書を開く

保存した文書は、いつでも開いて編集することができます。

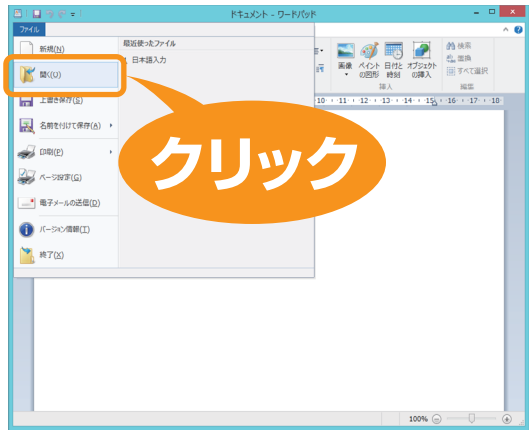
ワードパッドを起動する

1. Windowsアプリー覧から「ワードパッド」をクリックします。



メモ　Windowsアプリー覧の表示方法については、2-11ページをご確認ください。

2. 左上の「ファイル」メニューを選択し、「開く」をクリックします。

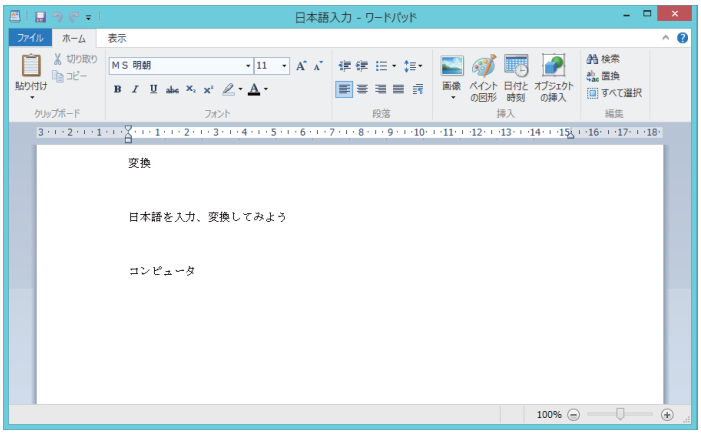


3. 開きたいファイルを選択し、「開く」をクリックします。

メモ

ワードパッドでは、Wordで作成したファイル(docファイル)を開くことが可能です。また、メモ帳などで作成したテキストファイル(txtファイル)も読み込み可能です。テキストファイルをワードパッドに読み込んだ後、フォントの変更、レイアウトの調整などを行うことも可能です。本文を先にメモ帳などで作成し、全体的なレイアウトを後からワードパッドで行うことができます。

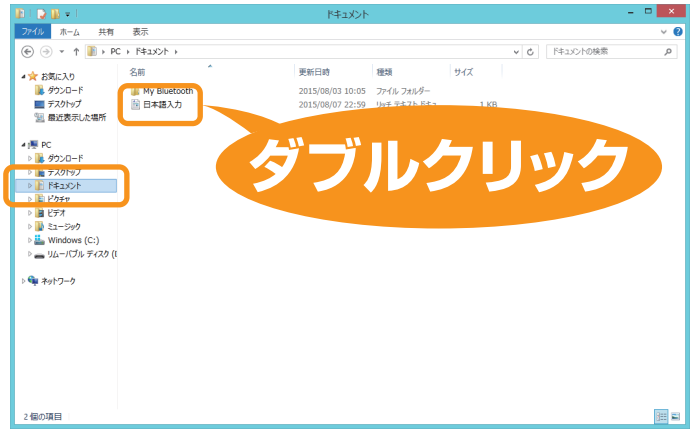
4. 選択したファイルが開きます。



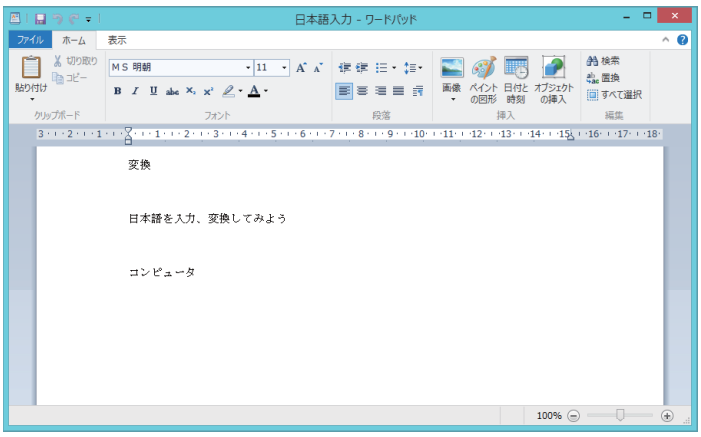
デスクトップから保存した文書を開く

1. 画面左下の「エクスプローラー」をクリックします。

2. 保存した場所をクリックし、表示されたファイル名をダブルクリックします。



3. 選択したファイルが開きます。



Chapter 4

フォルダーとファイルの操作

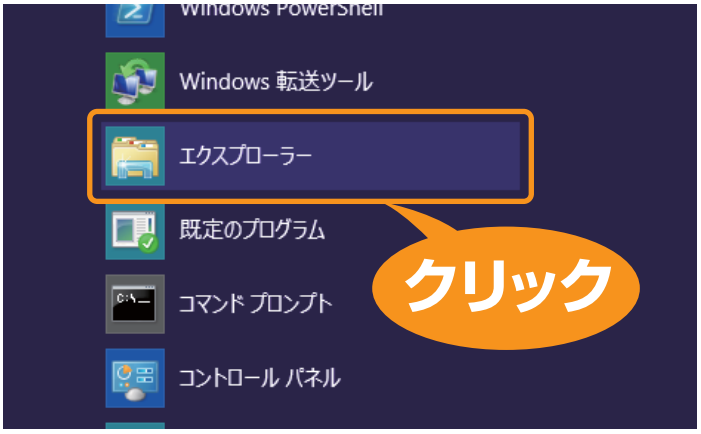
フォルダーを開く	4-1
フォルダーやファイルの一覧形式	4-3
フォルダーやファイルの新規作成	4-6
ファイルやフォルダーの選択	4-10
ファイルやフォルダーの削除	4-12
ファイルやフォルダーを検索する	4-15
フォルダーの圧縮と解凍	4-16

フォルダーを開く

フォルダーとは、ファイルを分類整理するための入れ物です。ここでは、フォルダーに保存されているファイルを参照する方法について説明します。

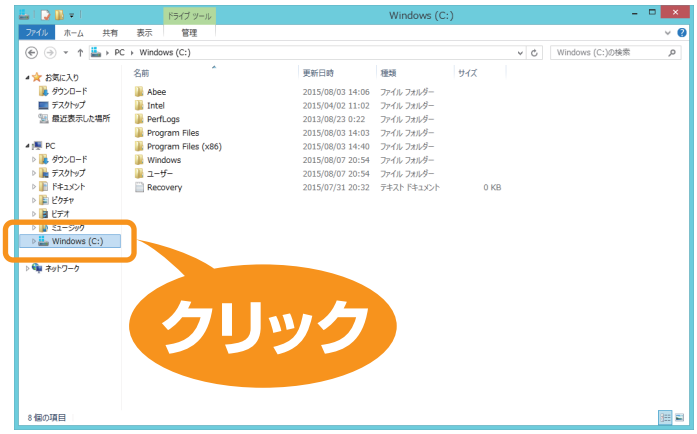
フォルダー内の参照

1. Windowsアプリー覧から「エクスプローラー」をクリックします。

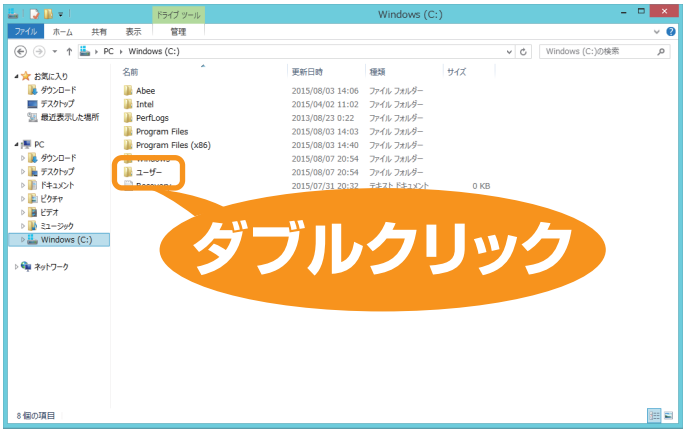


> **メモ** Windowsアプリー覧の表示方法については、2-11ページをご確認ください。
> デスクトップからフォルダー内の参照を行うには、画面左下の「エクスプローラー」をクリックします。

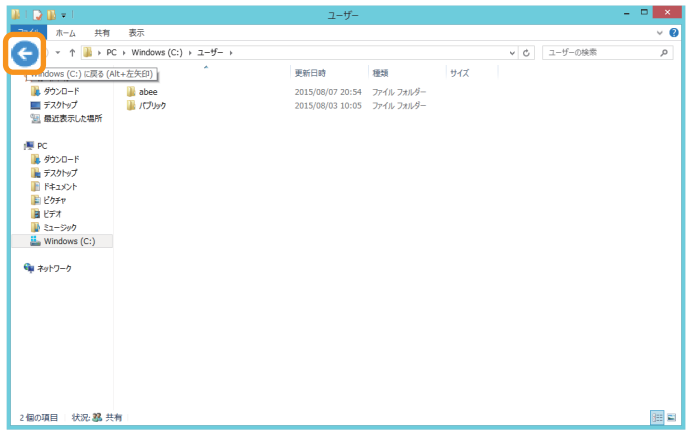
2. 「ローカルディスク(C:)」をクリックし、フォルダーを表示します。



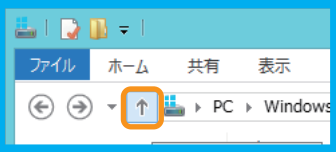
3. ユーザーフォルダーをダブルクリックし、フォルダーを開きます。



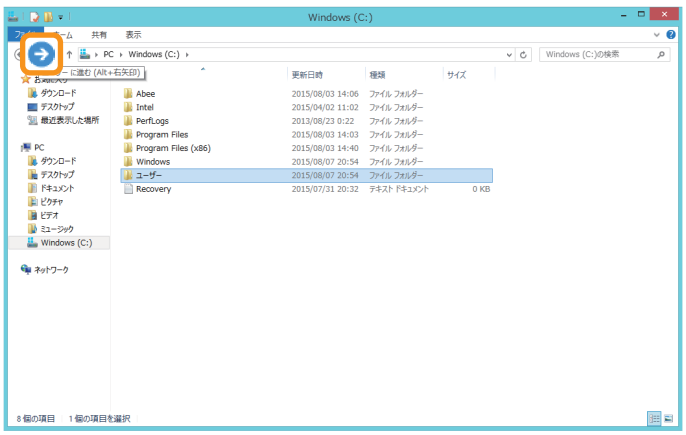
4. 「戻る」ボタンで、一つ前のフォルダーに表示を戻します。



メモ　一つ前の(親)フォルダーに戻るには、「↑」をクリックします。



5. 「進む」ボタンで、戻る前のフォルダーに進みます。



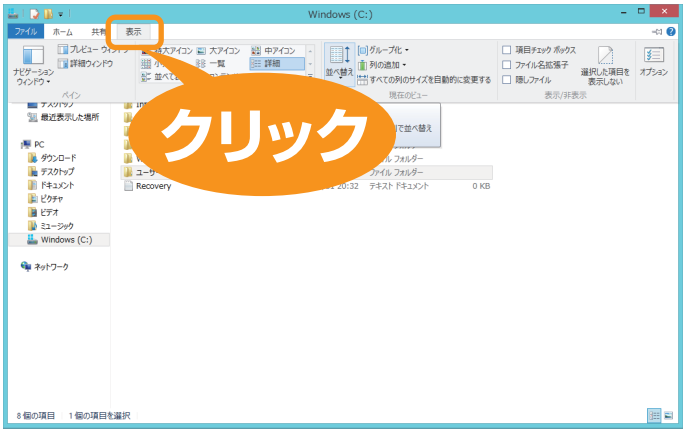
フォルダーやファイルの一覧形式

フォルダーをダブルクリックすると、中に保存されているファイルが一覧表示されます。表示には様々な形式があります。

フォルダー・ファイルの表示形式

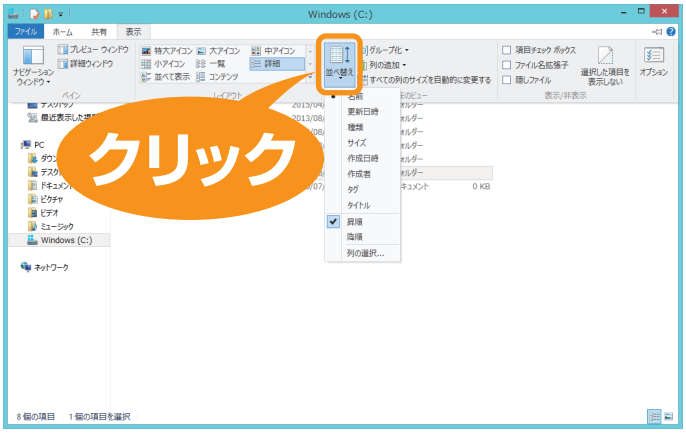
アイコンの表示形式を変更する

「表示」をクリックし、レイアウト内から表示形式を選択します。



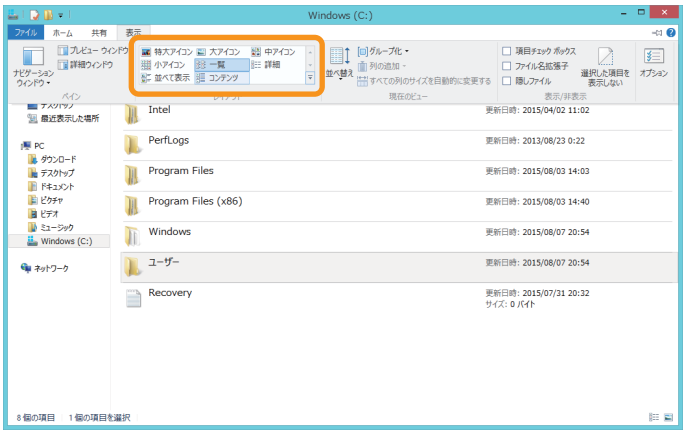
アイコンの整列形式を変更する

「表示」メニューから「並べ替え」をクリックし、一覧から整列形式を選択します。



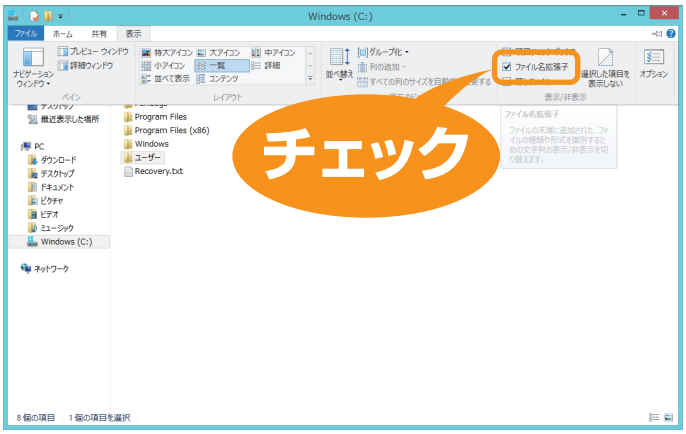
一覧・詳細

「表示」メニューから表示方法を選択します。



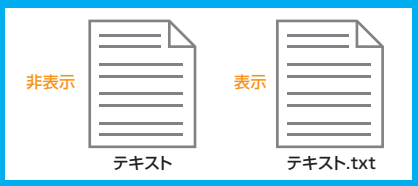
拡張子を表示する

「表示」メニューから、「ファイル名拡張子」にチェックを入れます。



メモ

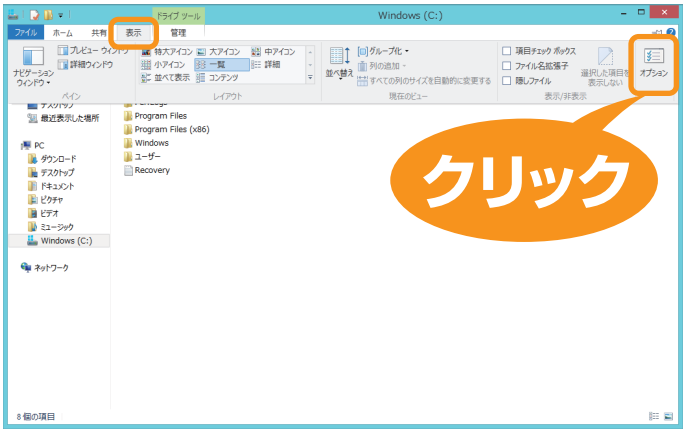
拡張子とは、ファイルの種類を識別するためにファイルの名前（ファイル名）の末尾につけられた文字列です。



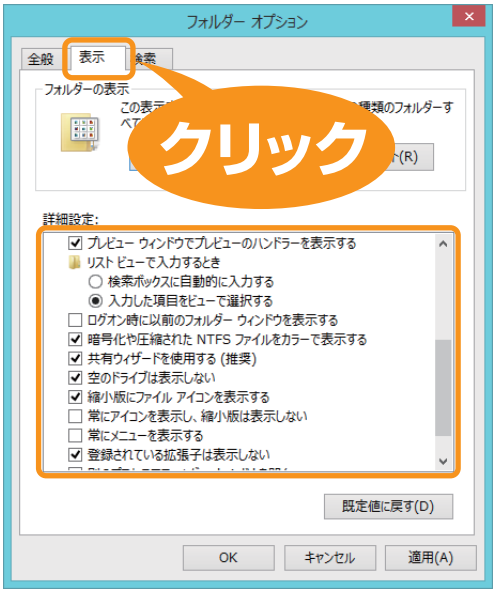
フォルダーオプション

フォルダーオプションでは、拡張子の表示･非表示、暗号化や圧縮されたファイルやフォルダー色の変更、隠しファイルの表示などの設定等を変更することができます。

1. 「表示」メニューを選択し、「オプション」をクリックします。



2. 「表示」タブをクリックし、詳細設定から設定を変更します。

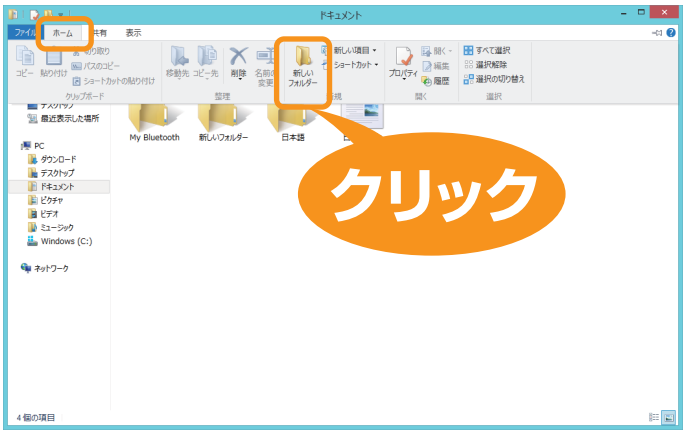


フォルダーやファイルの新規作成

新しいフォルダーやファイルを使いたい場合は、以下の手順で新規に作成します。

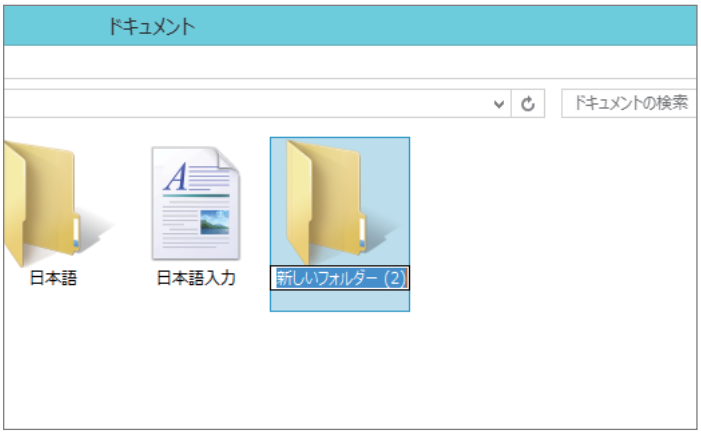
フォルダーの作成

1. 「ホーム」メニューを選択し、「新しいフォルダー」をクリックします。



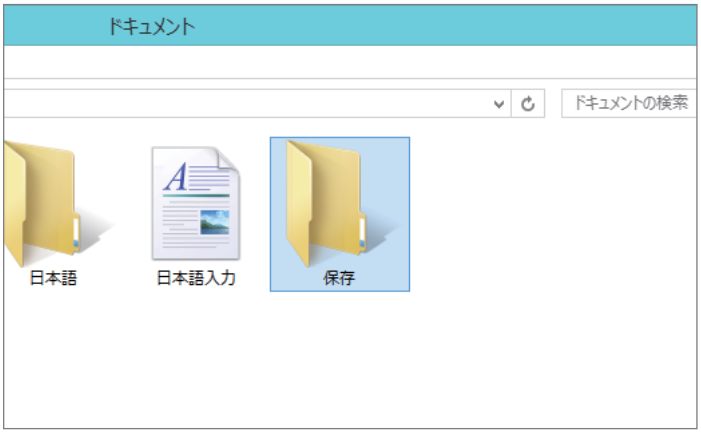
メモ　例として「ドキュメント」内に作成しています。アイコンは「大アイコン」に設定されています。

2. 「新しいフォルダー」が作成されます。



メモ　フォルダーやデスクトップの何も無いところで右クリックし、「新規作成」-「フォルダー」の順で新しいフォルダーを作成することもできます。

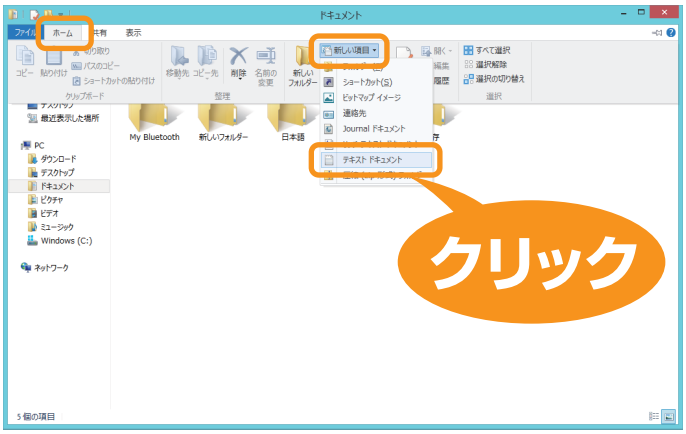
3. 青く反転している状態でフォルダー名を入力し、「Enter」キーを押します。



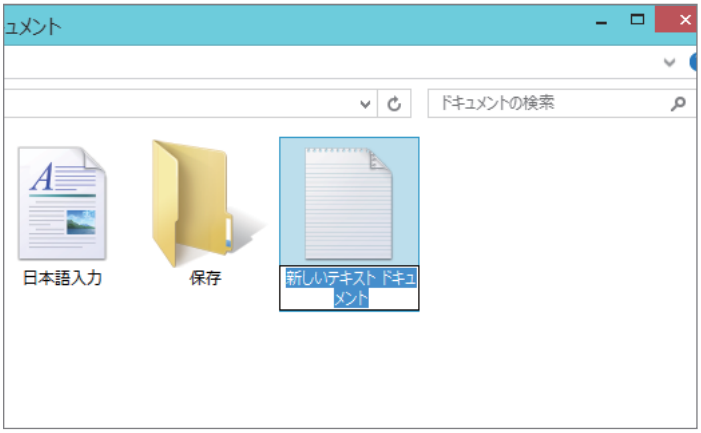
メモ　青い反転が解除されてしまった場合には、フォルダーの上で右クリックし、「名前の変更」を選択します。

ファイルの新規作成

1. 「ホーム」メニューを選択し、「新しい項目」をクリックします。一覧から「テキストドキュメント」を選択します。

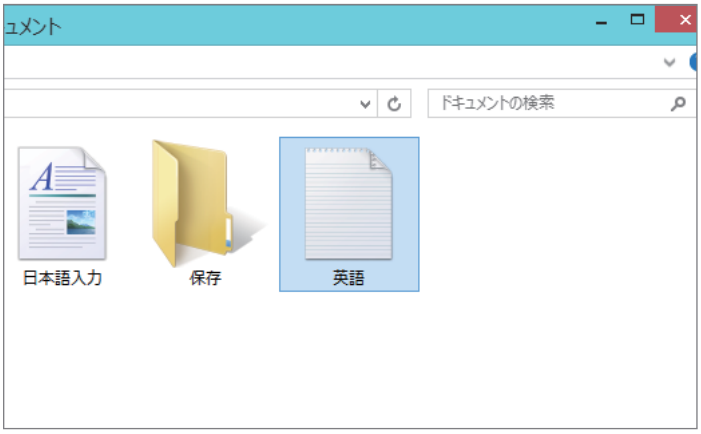


2. 「新しいテキストドキュメント」が作成されます。



メモ フォルダーやデスクトップの何も無いところで右クリックし、「新規作成」-「テキストドキュメント」の順で、新しいファイルを作成することもできます。

3. 青く反転している状態でファイル名を入力し、「Enter」キーを押します。



重要 1つのドライブ、およびフォルダー内に、同じ名前のファイル、フォルダーを2つ作成することはできません。同じ名前のファイルを作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。同じ内容のファイルを同じフォルダーに保存する場合は、ファイル名を別のものにする必要があります。

メモ 青い反転が解除されてしまった場合には、フォルダーの上で右クリックし、「名前の変更」を選択します。

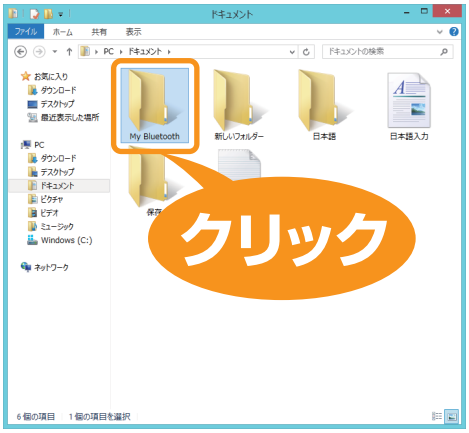
ファイルやフォルダーの選択

ファイルやフォルダーを操作するためには、ファイルやフォルダーを選択してから操作します。

ファイルの選択

選択する

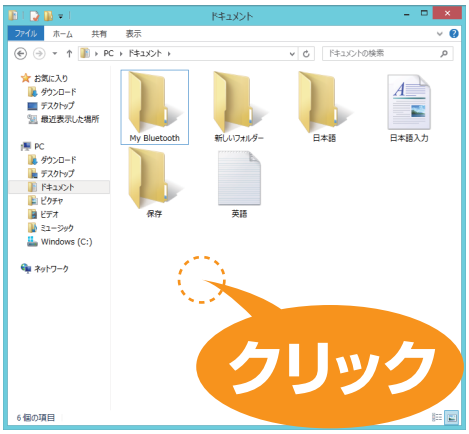
選択したいファイルをクリックします。選択されたファイルは、青く反転します。



> **メモ**　例として「ドキュメント」内で操作を行っています。

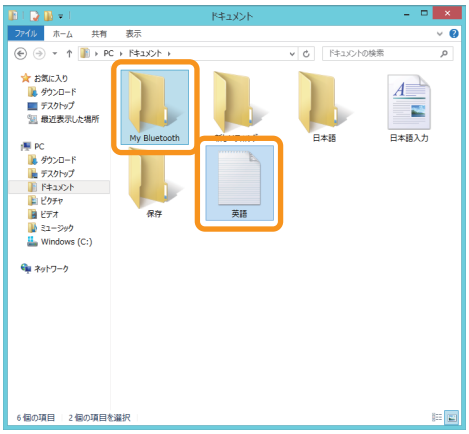
選択解除

何も無いところでクリックし、選択を解除します。



離れた場所にあるファイルを選択する

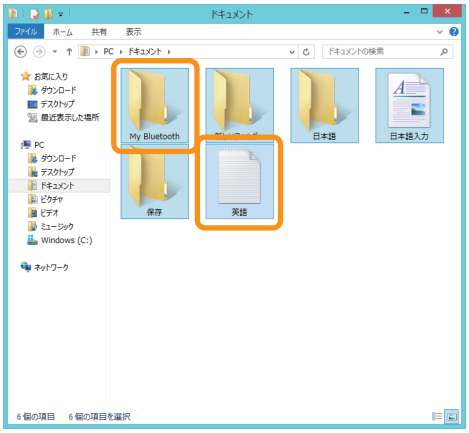
最初のファイルを選択し、青く反転していることを確認したら「Ctrl」キーを押しながら別のファイルを選択します。



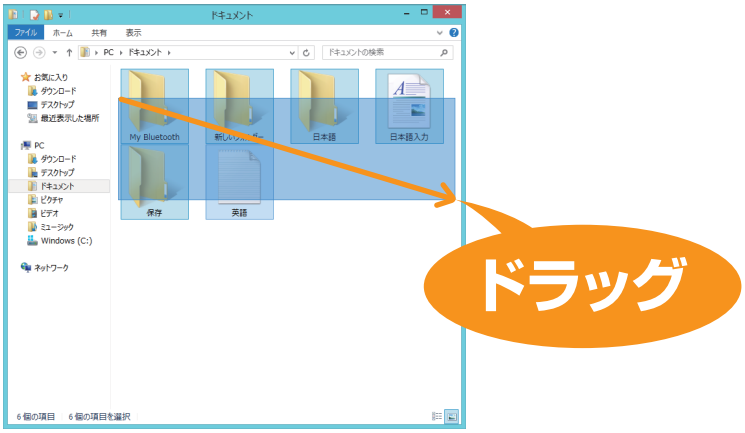
> **メモ**　離れた場所のファイルが、青く反転していることを確認します。

連続している複数ファイルの選択

最初のファイルを選択します。「Shift」キーを押しながら最後のファイルを選択します。



選択したいファイルを、ドラッグ操作で選択することもできます。



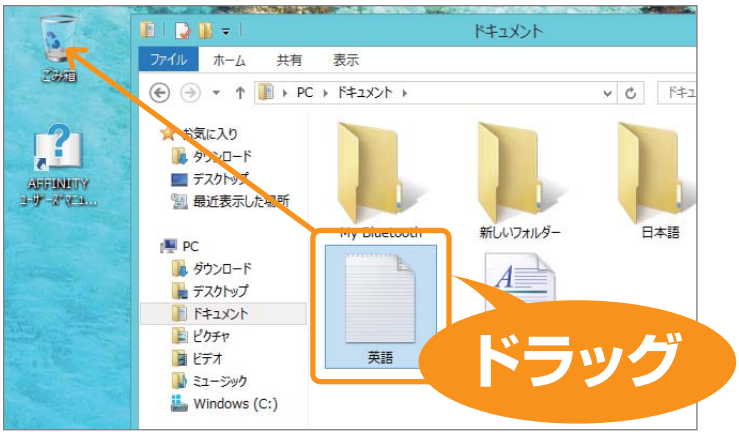
メモ　すべてのファイルが、青く反転していることを確認します。

ファイルやフォルダーの削除

不要なファイルやフォルダーは、ごみ箱へ削除し整理します。

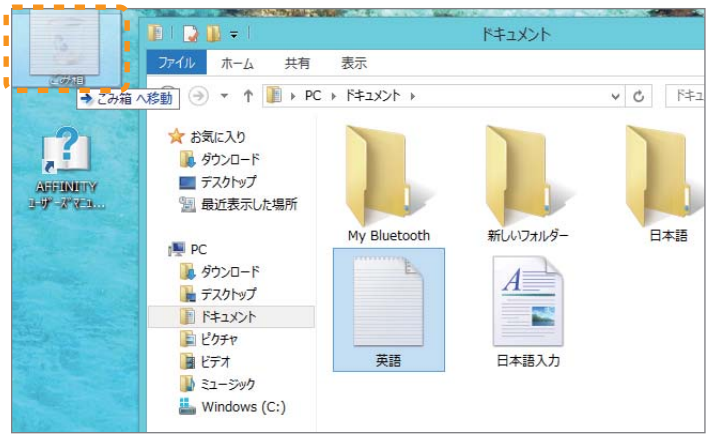
ファイルの削除

1. 削除したいファイルを「ごみ箱」にドラッグします。

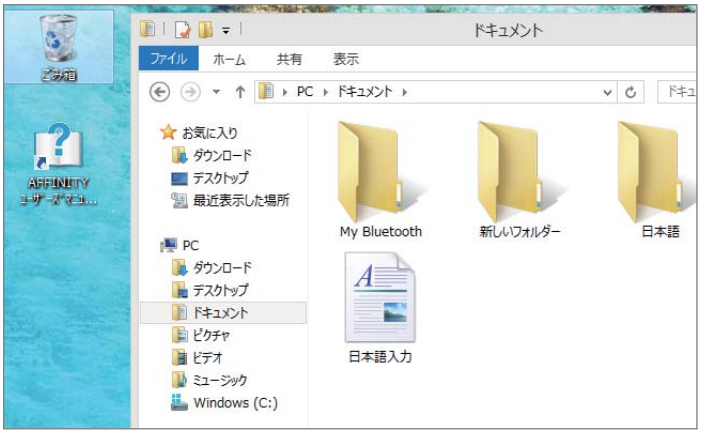


メモ ファイルの上で右クリックし、表示されるメニューから「削除」をクリックしてもファイルを削除することができます。

2. 「ごみ箱」の上でマウスボタンを離します。



3. ファイルが消えて「ごみ箱」へ入り削除されます。



ごみ箱のファイルを完全に削除する

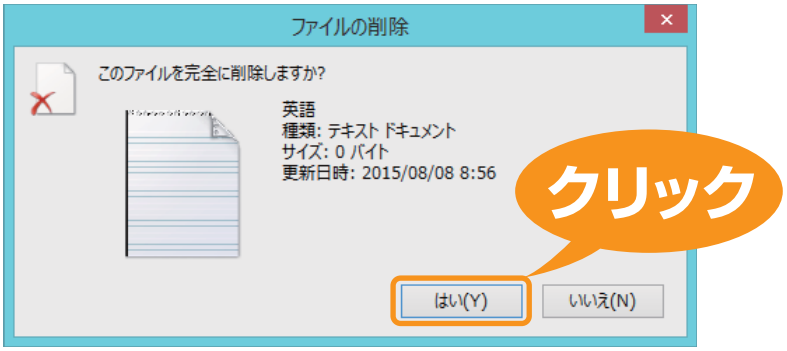
1. 「ごみ箱」をダブルクリックし開きます。

メモ

通常、削除したファイルはごみ箱に移動します。[ごみ箱]アイコンを右クリック⇒[プロパティ]⇒[ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す]にチェックを入れると、ごみ箱にファイルを移動することなく、パソコン上から直接ファイルを削除することができるようになります。ただし、この方式でファイルを削除すると、ファイルを間違って削除した場合に復元ができなくなります。

2. 「管理」をクリックし、「ごみ箱を空にする」をクリックします。

3. 削除確認メッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。



メモ　[ごみ箱]を右クリックして表示されるメニューから、[ごみ箱を空にする]をクリックしてもごみ箱内のファイルを完全に削除することができます。

ファイルやフォルダーを検索する

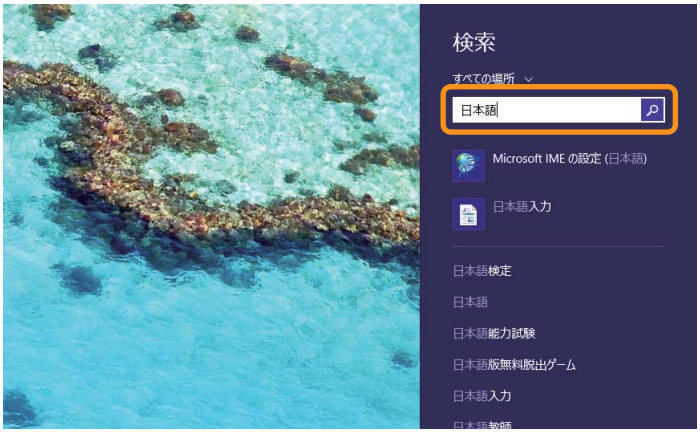
ファイルが見つからない場合は、検索機能を使用しファイルを検索することができます。

ファイル名からファイルを検索する

1. 「チャーム」を表示し、「検索」をクリックします。

メモ
- 「Windows」キーを押しながら、「C」キーを押すことで、チャームを表示させることができます。
- 「Windows」キーを押しながら、「X」キーを押すことで、画面左下に表示されたメニューから[検索]をクリックしても同じ操作が可能です。

2. 検索したいファイル名を入力し、「Enter」キーを押すと、検索結果が表示されます。



フォルダーの圧縮と解凍

圧縮とは、データの内容を保持しつつ、容量を削減する処理のことを指します。逆に、圧縮されたデータを元のデータに復元する処理は「解凍」と言います。

フォルダーの圧縮

1. 圧縮したいフォルダーを右クリックします。メニューの中から「送る」→「圧縮(ZIP形式)フォルダー」の順にクリックします。

メモ

圧縮ファイルは、圧縮されていないファイルに比べて、使用する記憶域が少なくなります。他のコンピューターへの転送時間もより短くすることができます。圧縮ファイルと圧縮フォルダーは、圧縮されていないファイルやフォルダーと同じように扱うことができます。また、複数のファイルを1つの圧縮フォルダーとしてまとめることもできます。こうすることにより、電子メールメッセージの添付が複数のファイルでなく1つのフォルダーだけで済むため、複数ファイルの共有がより容易になります。

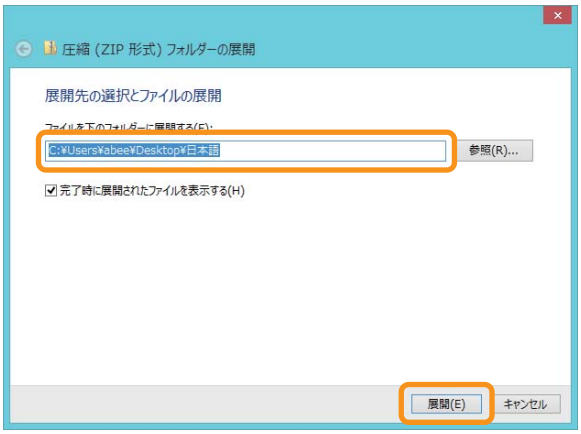
2. 圧縮したフォルダーが作成されます。

圧縮したフォルダーの解凍

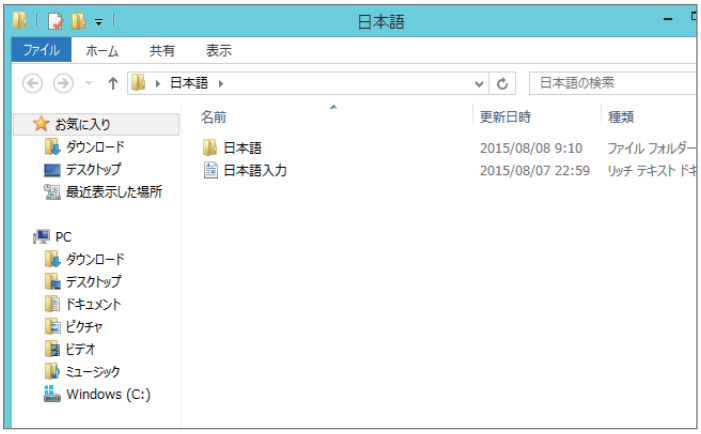
1. 解凍したいフォルダーを右クリックし、「すべて展開」をクリックします。

メモ　Windows 8.1で圧縮・解凍を行えるのは、ZIP形式のみとなります。他の圧縮形式を使用するには、別途アプリケーションをインストールする必要があります。

2. 解凍したファイルを展開する場所を選択し、「展開」をクリックします。



3. フォルダーの解凍が完了します。



Chapter 5

インターネットとメール

Webページを閲覧する	5-1
特定のWebページをスタート画面にピン留めする	5-3
お気に入りに追加する	5-7
Windows Liveメール	5-11
メールアカウントを設定する	5-14
電子メールの作成と送信成	5-17

Webページを閲覧する

Windows 8.1でWebページを閲覧する場合、従来のデスクトップからInternet Explorerを起動し閲覧する方法と、Windowsストアアプリの Internet Explorerを起動し閲覧する2通りの方法があります。

Windowsストアアプリで閲覧する

1. スタート画面の「Internet Explorer」タイルをクリックします。

2. Internet Explorerが表示され、Webページを閲覧することができます。

メモ アビーオフィシャルサイトを表示させて操作を説明します。

デスクトップで閲覧する

1. 画面左下の「Internet Explorer」のアイコンをクリックします。

2. Internet Explorerが表示され、Webページを閲覧することができます。

特定のWebページをスタート画面にピン留めする

WindowsストアアプリのInternet Explorerで表示した特定の画面をスタート画面にピン留めする

1. スタート画面の「Internet Explorer」タイルをクリックします。

2. ピン留めしたいWebページを開き、画面右下の星アイコンをクリックします。

メモ　アプリバーの表示が消えてしまった場合には、Webページ上で右クリックすることで、画面右下にアプリバーを表示させることができます。

3. ピンアイコンをクリックし、「スタート画面にピン留めする」をクリックします。

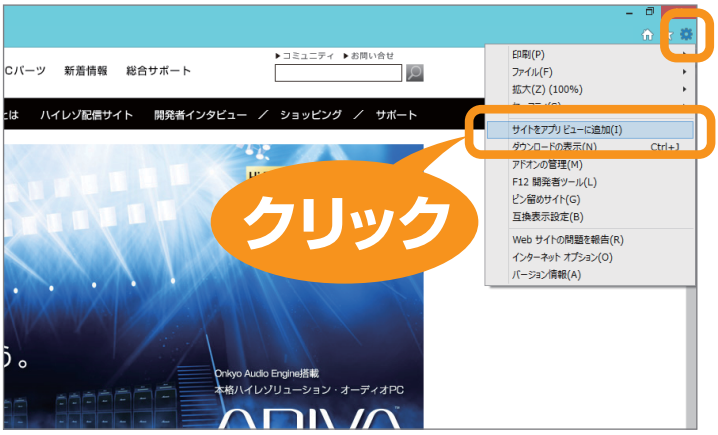
4. スタート画面にピン留めしたWebページのタイルが表示されます。

メモ スタート画面にピン留めしたWebページを外すには、タイルの上で右クリックします。画面下に表示されたアプリバーの「スタート画面からピン留めを外す」をクリックします。

デスクトップのInternet Explorerで表示した特定の画面をアプリ画面にピン留めする

1. 画面左下の「Internet Explorer」のアイコンをクリックします。

2. ピン留めしたいWebページを開き、画面右上の歯車アイコンをクリックし、「サイトをアプリビューに追加」をクリックします。



3. 「追加」をクリックします。

4. アプリ画面に、ピン留めしたWebページのタイルが表示されます。

メモ アプリ画面にピン留めしたWebページをスタート画面にピン留めする場合には、タイルの上で右クリックします。画面下に表示されたアプリバーの「スタート画面にピン留めする」をクリックします。

お気に入りに追加する

WindowsストアアプリのInternet Explorerでお気に入りに追加する

1. スタート画面の「Internet Explorer」タイルをクリックします。

2. お気に入りに追加したいWebページを開き、画面右下の星アイコンをクリックします。

メモ アプリバーの表示が消えてしまった場合には、Webページ上で右クリックすることで、画面右下にアプリバーを表示させることができます。

3. 星アイコンをクリックし、「追加」をクリックします。

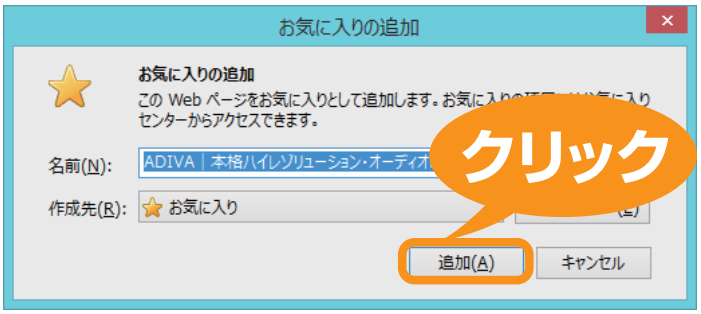
4. 「お気に入り」にWebページが追加されていることが確認できます。

デスクトップのInternet Explorerでお気に入りに追加する

1. 画面左下の「Internet Explorer」のアイコンをクリックします。

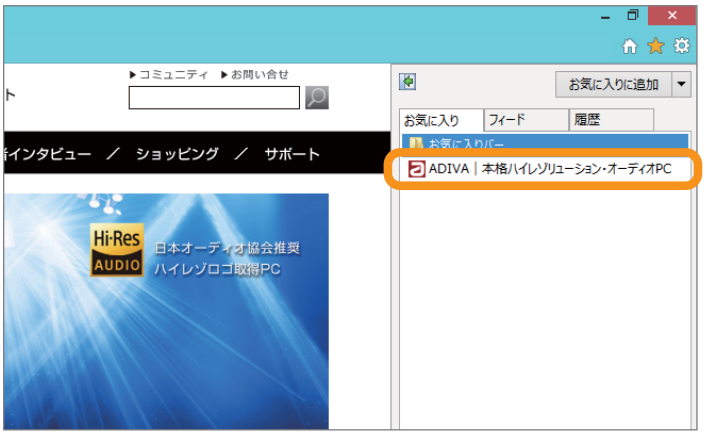
2. お気に入りに追加したいWebページを開き、画面右上の星のアイコンをクリックし、「お気に入りに追加」をクリックします。

3. 「追加」をクリックします。



> **メモ** 任意の名前を入力することができます。

4. 「お気に入り」にWebページが追加されていることを確認します。



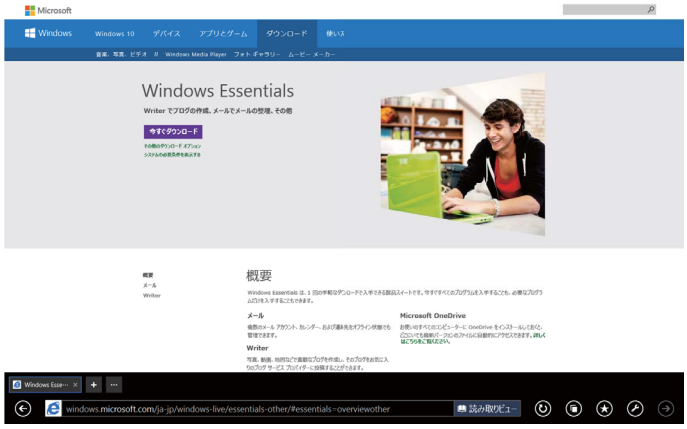
> **メモ** お気に入りから削除するには、削除したいタイトルの上で右クリックし、「削除」をクリックします。

Windows Liveメール

Windows LiveメールはOutlook Expressの後継版となるメールソフトです。Windows Liveメールには、複数アカウントの一括管理やWebメールへの標準対応など、新しい機能があります。

Windows Liveメールのダウンロード

1. 「http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows-live/essentials-other」にアクセスします。

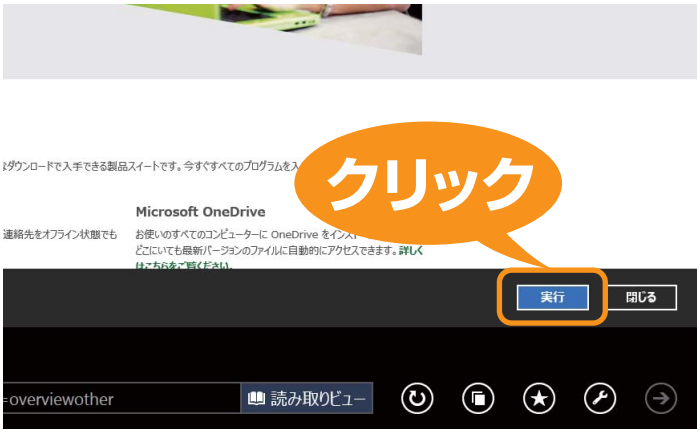


メモ　上記アドレスをクリックすると、Windows Liveメールのダウンロードサイトへアクセスできます。

2. 「今すぐダウンロード」をクリックします。

3. 画面下部から「保存」をクリックします。

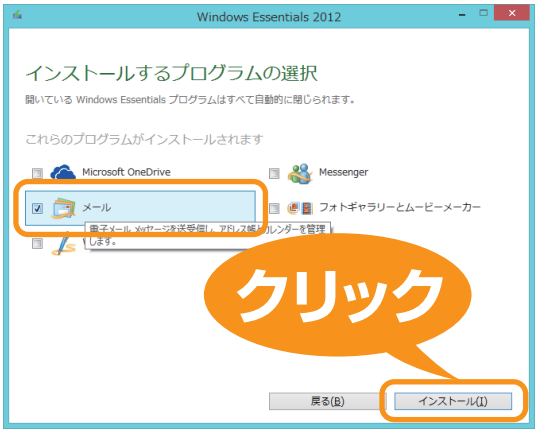
4. ダウンロードが完了したら、「実行」をクリックします。



5. 「インストールする製品の選択」をクリックします。

メモ デスクトップ上でダウンロードした場合、画面右上の歯車のアイコンをクリックし、一覧から「ダウンロードの表示」でインストールを実行することができます。

6. 「メール」にチェックを入れ、「インストール」をクリックします。



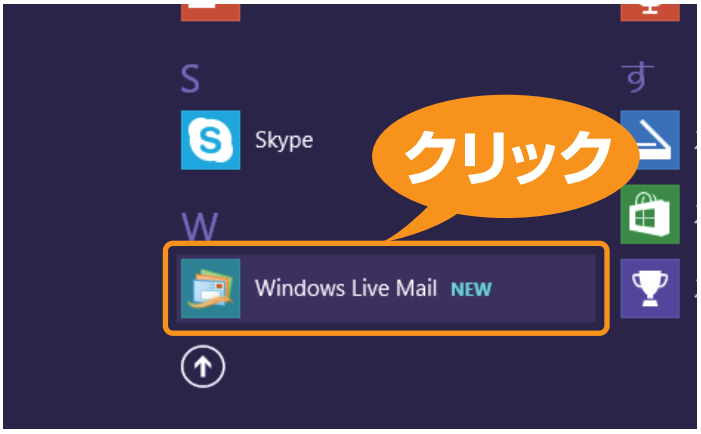
7. インストールが完了したら、「閉じる」をクリックします。

メールアカウントを設定する

Windows Liveメールを使用するためには、メールアカウントを設定する必要があります。

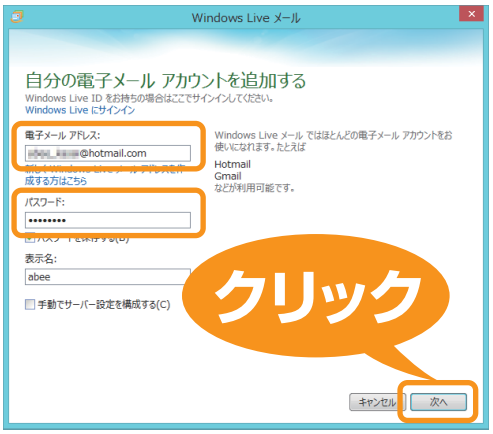
1. スタート画面左下の↓アイコンをクリックします。

2. 「Windows Live Mail」をクリックします。



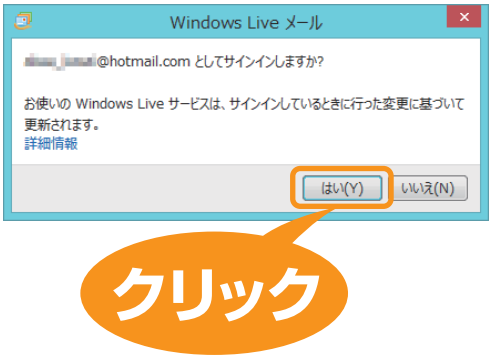
3. 「マイクロソフトサービスアグリーメント」が表示されたら、内容をよくお読みのうえ「承諾」をクリックします。

4. 登録するMicrosoftアカウントの「電子メールアドレス」と「パスワード」を入力し、「次へ」をクリックします。



メモ 後からアカウントを追加するには、Windows Liveメールのスタート画面上部の「アカウント」タブをクリックし、「電子メール」をクリックします。

5. 確認画面が表示されたら、「はい」をクリックします。

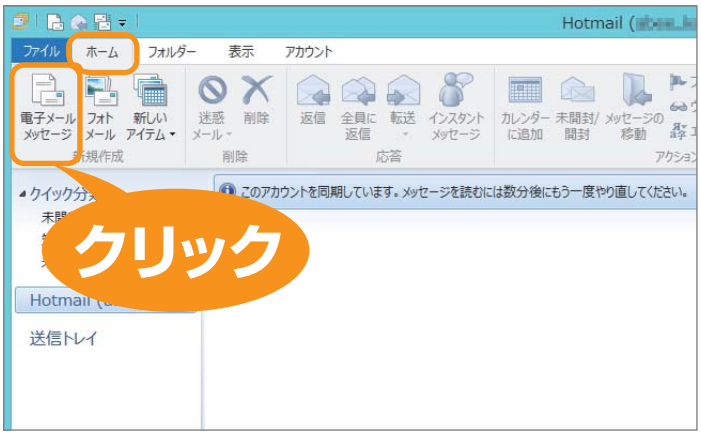


6. 「完了」をクリックします。

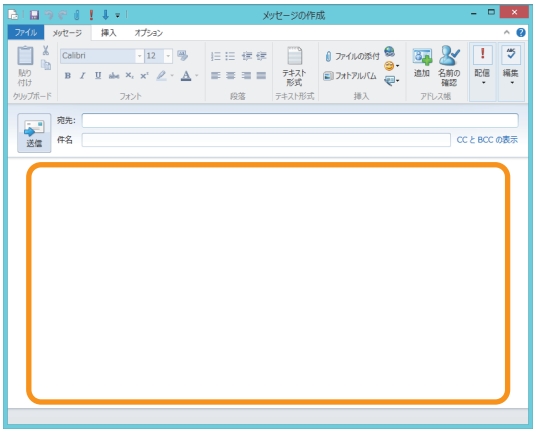
電子メールの作成と送信

作成したメールを送信する

1. 「ホーム」メニューを選択し、「電子メールメッセージ」をクリックします。



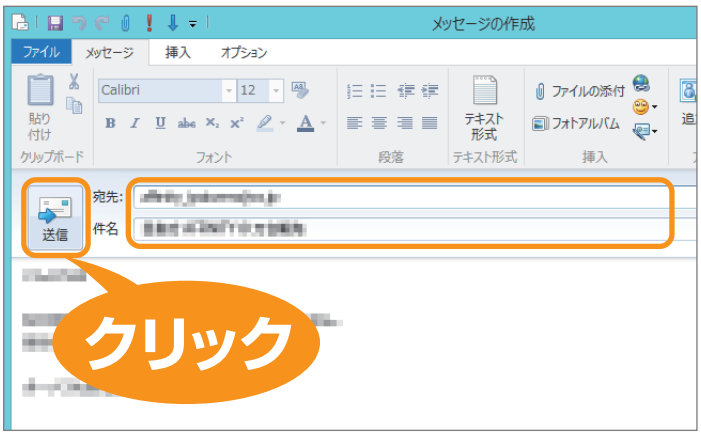
2. 本文欄に文章を入力します。



メモ

メール送信の形式には、テキスト形式と、リッチテキスト(HTML)形式の2種類があります。リッチテキスト(HTML)形式でのメールは、表現豊かなメールを作成することができますが、受信側のメールソフトが対応していないと、正しく内容を表示できない可能性があります。文章のみのメールを主に使用する場合は、テキスト形式に変更します。変更方法は、「メッセージ」メニューの「テキスト形式」をクリックします。なお、初期設定では、リッチテキスト(HTML)形式になっています。

3. 「宛先」に送信先のメールアドレス、「件名」に本文のタイトルを入力したら、「送信」をクリックします。



Chapter 6

Windowsの各種設定

画面の解像度を変更する	6-1
デスクトップの背景を変更する	6-3
スクリーンセーバーを設定する	6-5
日付と時刻を設定する	6-7
デスクトップにコンピューターのショートカットを作成する	6-9
ユーザーアカウントを追加する	6-11
ピクチャパスワードを設定する	6-14
ローカルアカウントをMicrosoftアカウントに切り替える	6-20
Microsoftアカウントをローカルアカウントに切り替える	6-27

画面の解像度を変更する

画面の解像度とは、画面に表示されるテキストとイメージの鮮明さを表す言葉です。画面の解像度が高い場合は、項目は鮮明に表示されます。また、項目はより小さく表示されるため、画面上に収まる項目が多くなります。画面の解像度が低い場合は、画面上に収まる項目は少なくなりますが、項目はより大きく表示されます。

画面解像度の変更

1. コントロールパネルを起動し、「画面の解像度の調整」をクリックします。

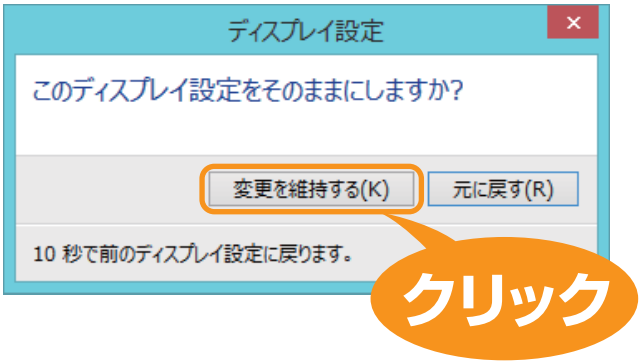
メモ

・コントロールパネルの起動方法については、2-15ページをご確認ください。
・デスクトップの何も無いところで右クリックします。メニューから「画面の解像度」をクリックすることで、「画面の解像度」画面を開くことができます。

2. 「解像度」のプルダウンから、設定したい解像度を選択します。

3. 「OK」をクリックします。

4. 確認のメッセージが表示されます。「変更を維持する」をクリックします。

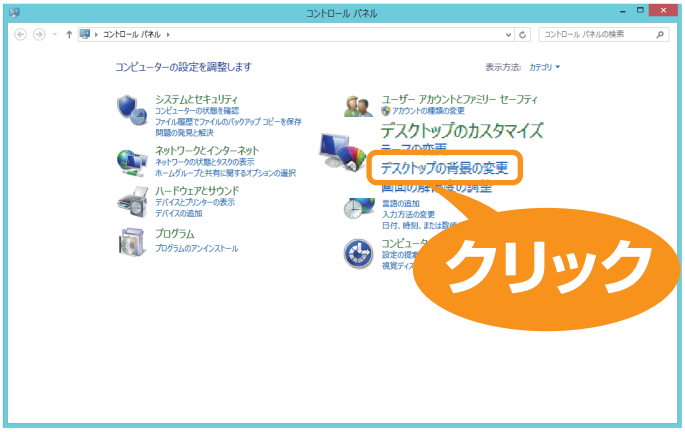


デスクトップの背景を変更する

デスクトップの背景は、保存している写真やお好みのカラーへ変更することができます。

デスクトップ背景の変更

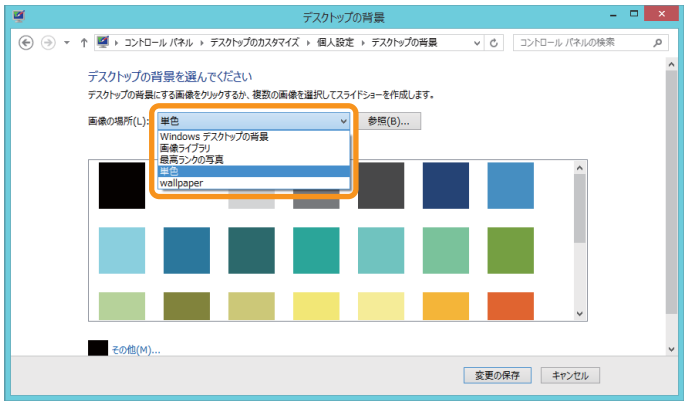
1. コントロールパネルを起動し、「デスクトップの背景の変更」をクリックします。



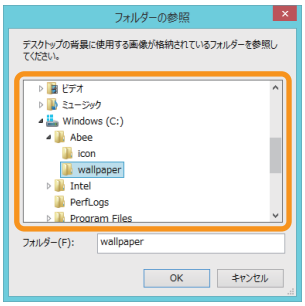
> **メモ** コントロールパネルの起動方法については、2-15ページをご確認ください。

2. 背景に設定したい画像を選択したら、「変更の保存」をクリックします。

3. 画像フォルダーを変更するには、「画像の場所」のプルダウンから選択します。



4. 好きな画像を背景に設定するには、「参照」をクリックし、画像が保存されているフォルダーから選択します。

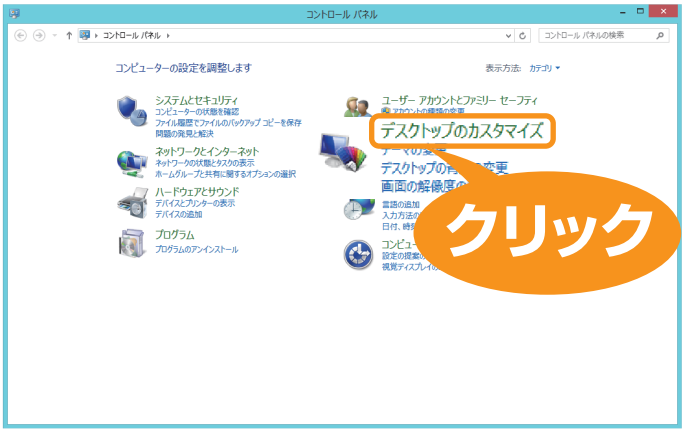


スクリーンセーバーを設定する

スクリーンセーバーとは、パソコンを使っていない間、画面を暗くしたり、アニメーションを表示したり、画面の焼き付きを防止する機能です。

スクリーンセーバーの変更

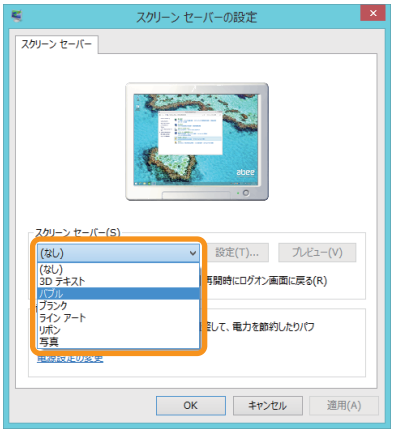
1. コントロールパネルを起動し、「デスクトップのカスタマイズ」をクリックします。



> **メモ**　コントロールパネルの起動方法については、2-15ページをご確認ください。

2. 「スクリーンセーバーの変更」をクリックします。

3. スクリーンセーバーのプルダウンから、お好みのスクリーンセーバーを選択します。



4. スクリーンセーバーに移行する待ち時間を設定したら、「OK」をクリックします。

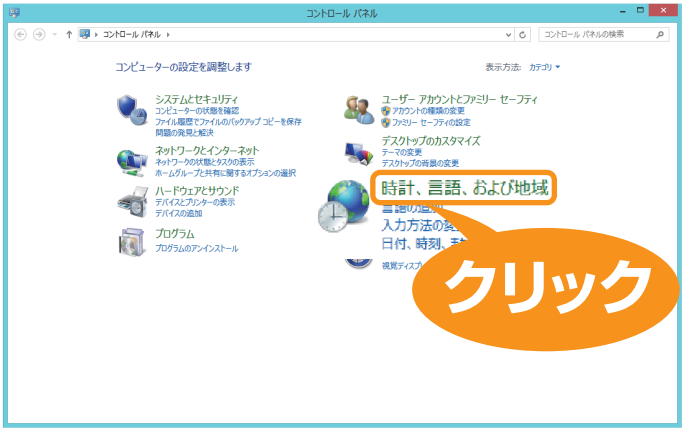
メモ スクリーンセーバーを起動するかわりに、モニタの電源を切る設定へ変更することもできます。「電源設定の変更」から電源プランを選択します。

日付と時刻を設定する

PCの内蔵時計は、アプリケーションの動作を制御する上で重要となります。正しい日付と時刻を設定します。

日付と時刻の設定

1. コントロールパネルを起動し、「時計、言語、および地域」をクリックします。

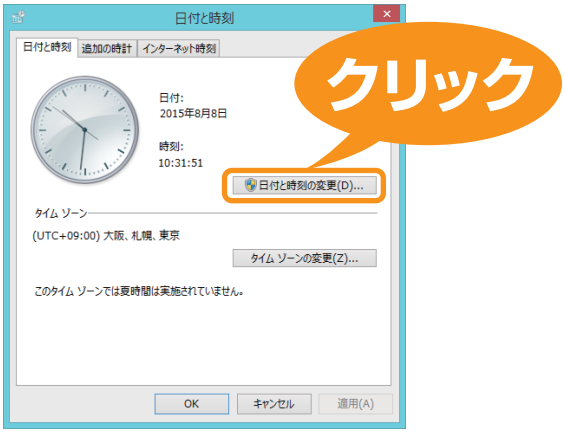


メモ

・コントロールパネルの起動方法については、2-15ページをご確認ください。
・デスクトップ画面右下に表示されている時計をダブルクリックしても、「日付と時刻の設定」画面が表示され、日付と時刻を設定することができます。

2. 「日付と時刻の設定」をクリックします。

3. 「日付と時刻の変更」をクリックします。



> **メモ** 日本でパソコンを使用する場合は、「東京、大阪、札幌」に設定し、海外で使用する場合は、タイムゾーンを現在の経度に設定します。

4. 「日付」と「時刻」を設定し、「OK」をクリックします。

> **メモ** [インターネット時刻]⇒[インターネット時刻サーバーと同期する]にチェックを入れれば、正しい時刻をインターネット経由で常に調整可能です。

デスクトップにコンピューターのショートカットを作成する

デスクトップに「コンピューター」や「コントロールパネル」のショートカットアイコンを作成し、簡単に起動させることができます。

デスクトップにアイコンを追加

1. コントロールパネルを起動し、「デスクトップのカスタマイズ」をクリックします。

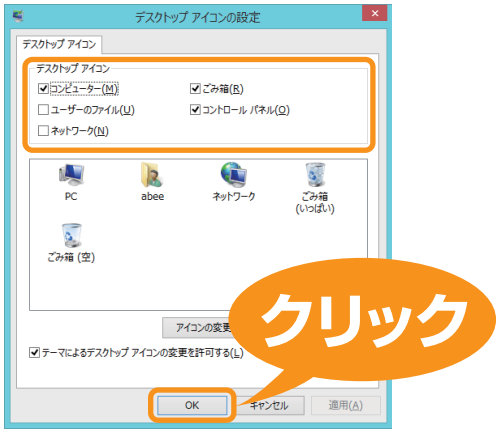
メモ

- コントロールパネルの起動方法については、2-15ページをご確認ください。
- アプリケーションのショートカットを作るには、アプリケーションがインストールされているフォルダーを開き、アプリケーション本体のファイルをデスクトップにドラッグします。メニューが表示されるので、その中から[ショートカットをここに作成]をクリックすると、ショートカットが作成されます。また、アプリケーション本体のファイルの上で右クリックし、メニューの中から[送る]⇒[デスクトップ(ショートカットの作成)]をクリックしても、ショートカットを作成することができます。

2. 「個人設定」をクリックします。

3. 「デスクトップアイコンの変更」をクリックします。

4. 追加するアイコンを選択したら、「OK」をクリックします。



メモ

コンピューターやコントロールパネルだけではなく、アプリケーションやファイルやフォルダーもショートカットを作成することができます。それらのショートカットを作成する場合は、アイコンを右クリックし、「ショートカットの作成」をクリックします。

ユーザーアカウントを追加する

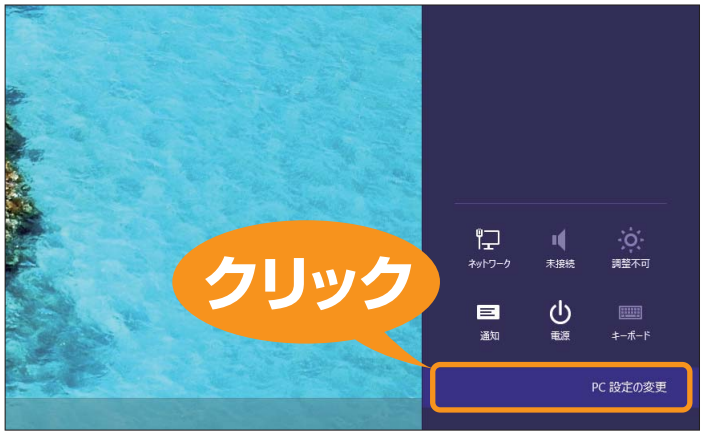
家族や職場の仲間など、複数人でPCを使用する場合、ユーザーアカウントを追加すると便利です。ユーザーアカウントを追加することによって、自分専用のファイルや設定を保持しながら、PCを共有することができます。パスワードの設定もここから行います。

ユーザーアカウントの追加

1. 「チャーム」を表示し、「設定」をクリックします。

メモ　「Windows」キーを押しながら、「C」キーを押すことで、チャームを表示させることができます。

2. 画面右下の「PC設定の変更」をクリックします。



3. 「アカウント」をクリックします。

4. 「その他のアカウント」をクリックし、「アカウントを追加する」をクリックします。

5. 「Microsoftアカウントを使わずにサインインする」をクリックします。

6. 「ローカルアカウント」をクリックします。

7. 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「次へ」をクリックします。

8. 新しいユーザーが追加されたら、「完了」をクリックします。

ピクチャパスワードを設定する

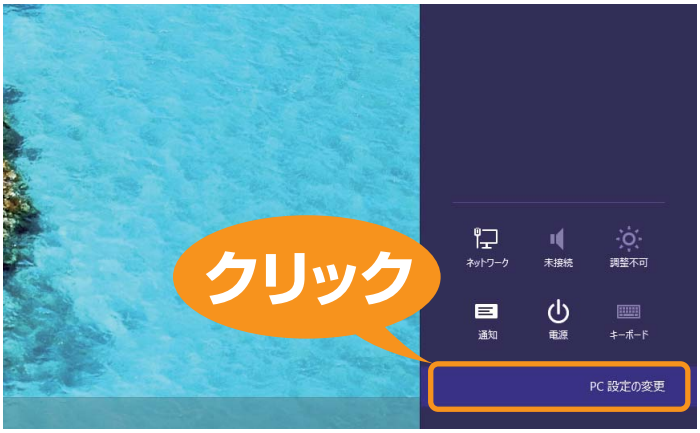
ピクチャパスワードとは、指定した画像の上で、円、直線、タップを組み合わせたジェスチャー（動作）をパスワードに設定し、設定したジェスチャーでサインインする方法です。タッチ操作、マウス操作のどちらでも入力が可能です。

ピクチャパスワードの設定

1. 「チャーム」を表示し、「設定」をクリックします。

メモ　「Windows」キーを押しながら、「C」キーを押すことで、チャームを表示させることができます。

2. 「PC設定の変更」をクリックします。



3. 「アカウント」をクリックします。

4. 「サインインオプション」を選択し、ピクチャパスワードの「追加」をクリックします。

重要 ピクチャパスワードを設定するには、アカウントにパスワードを設定する必要があります。

5. 現在使用しているアカウントのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

6. 「画像を選ぶ」をクリックします。

7. 使用する画像を選択し、「開く」をクリックします。

メモ　「ピクチャ」に保存されている画像が表示されます。「ピクチャ」以外に保存している画像を選ぶには、「PC」をクリックし、保存場所を選択します。

8. 「この画像を使う」をクリックします。

9. 選択した画像の上で、円・直線・クリックの3種類を組み合わせて、3つのジェスチャを設定します。まず、マウス左ボタンを押しながら、円のジェスチャを設定します。

10. 次に、マウス左ボタンを押しながら、直線のジェスチャを設定します。

11. 最後に、タップのジェスチャを設定します。

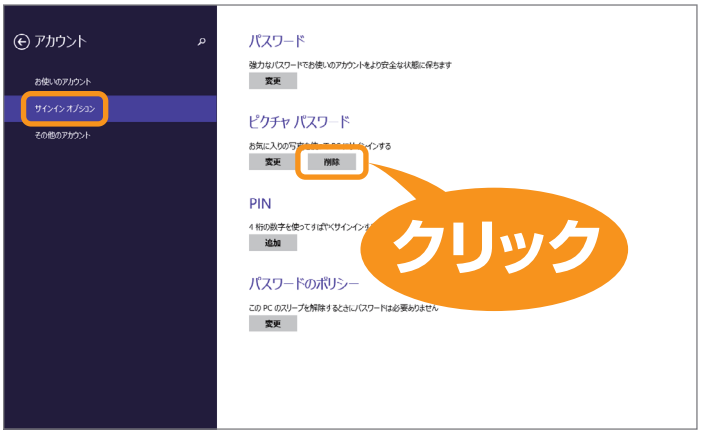
12. 「ジェスチャの確認」画面が表示されます。もう一度、円→直線→クリックの順でジェスチャを繰り返します。

13. 「完了」をクリックし、操作完了です。

14. 次回より、ピクチャパスワードを入力してサインインを行います。

ピクチャパスワードの削除

1. サインインオプションにピクチャパスワードの「削除」が表示されます。「削除」をクリックします。



ローカルアカウントをMicrosoftアカウントに切り替える

ローカルアカウントからMicrosoftアカウントに切り替える方法について説明します。

Microsoftアカウントへの切り替え（Microsoftアカウントをお持ちの場合）

1. 「チャーム」を表示し、「設定」をクリックします。

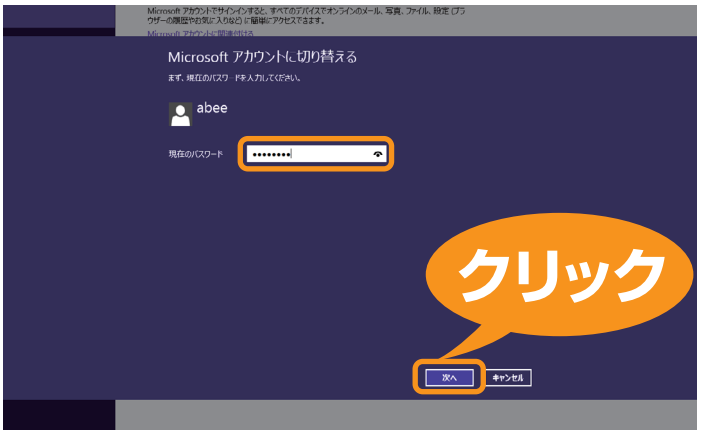
メモ　「Windows」キーを押しながら、「C」キーを押すことで、チャームを表示させることができます。

2. 画面右下の「PC設定の変更」をクリックします。

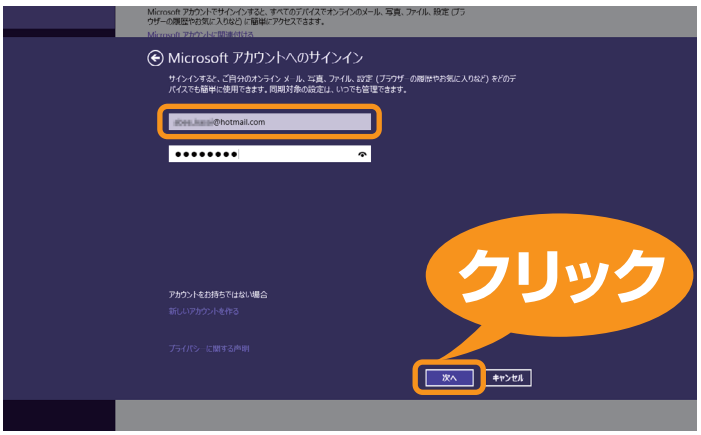
3. 「アカウント」をクリックします。

4. 「お使いのアカウント」をクリックし、「Microsoftアカウントに関連付ける」をクリックします。

5. ローカルアカウントで使用しているパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。



6. Microsoftアカウントへのサインイン登録画面が表示されます。アカウント名（メールアドレス）とパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

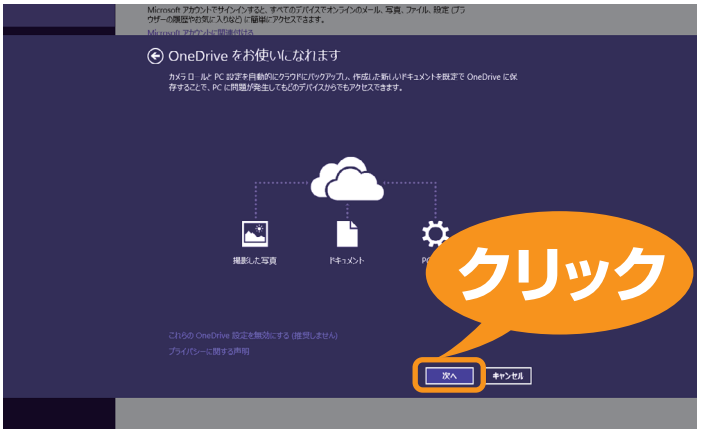


> **メモ** Microsoftアカウントをお持ちでなく、新しく作成してサインインする場合は、6-24ページ「Microsoftアカウントへの切り替え（Microsoftアカウントをお持ちでない場合）」へお進みください。

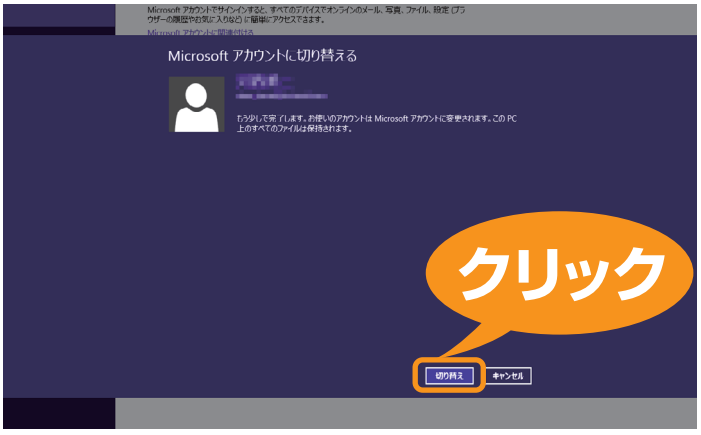
7. コードの受け取り方法を選択し、「次へ」をクリックします。

8. 受け取ったコードを入力し、「次へ」をクリックします。

9. 内容を確認し、「次へ」をクリックします。



10. 内容を確認し、「切り替え」をクリックします。

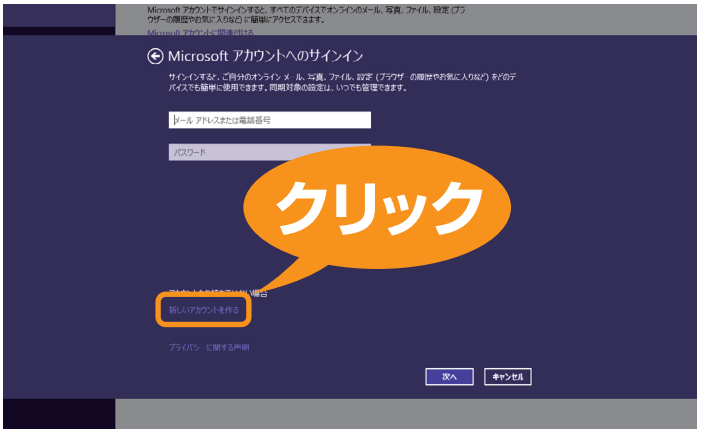


11. Microsoftアカウントへの切り替えが完了します。

Microsoftアカウントへの切り替え（Microsoftアカウントをお持ちでない場合）

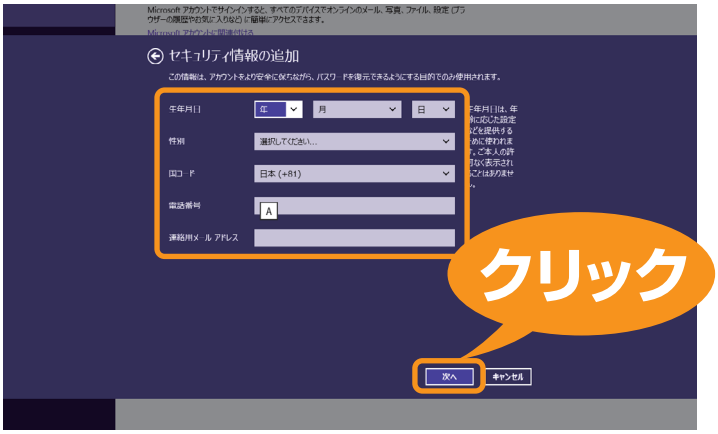
手順1～5はMicrosoftアカウントをお持ちの場合と同じになります。引き続き、次の手順6の作業を行ってください。

6. Microsoftアカウントへのサインイン登録画面が表示されます。「新しいアカウントを作る」をクリックします。

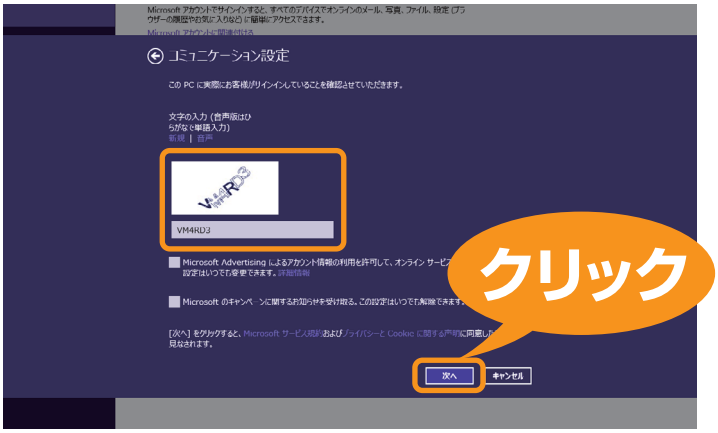


7. Microsoftアカウント情報を入力します。すべての入力を終えたら、「次へ」をクリックします。

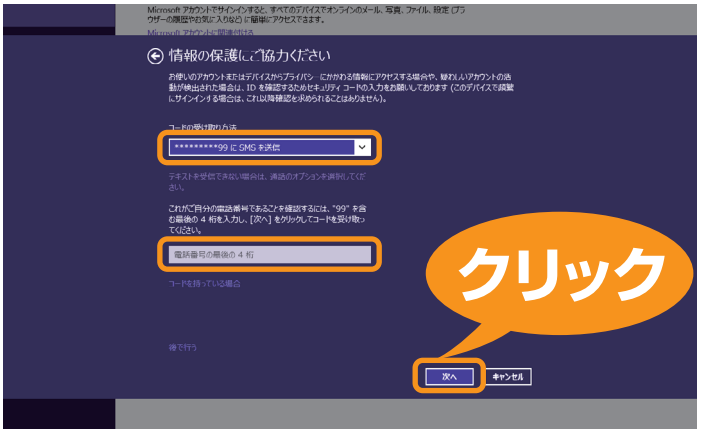
8. 追加の情報を入力します。すべての入力を終えたら、「次へ」をクリックします。



9. 表示されている文字を入力します。問題なく入力できたら、「次へ」をクリックします。

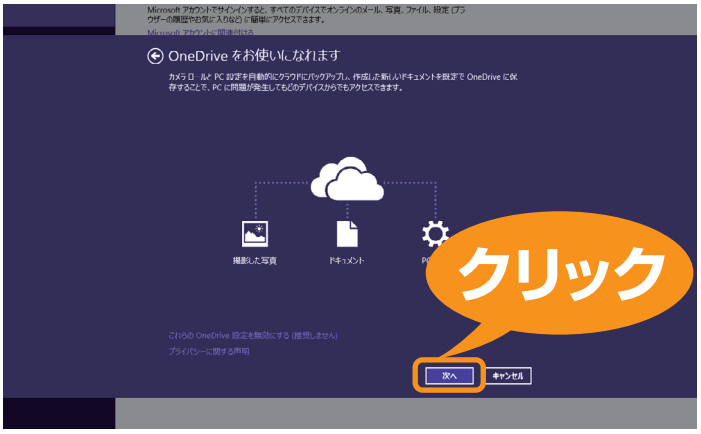


10. コードの受け取り方法を選択し、「次へ」をクリックします。

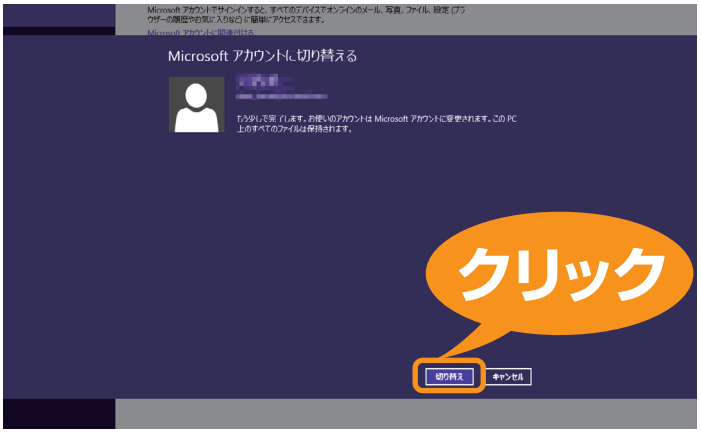


11. 受け取ったコードを入力し、「次へ」をクリックします。

12. 内容を確認し、「次へ」をクリックします。



13. 内容を確認し、「切り替え」をクリックします。



14. Microsoftアカウントへの切り替えが完了します。

Microsoftアカウントをローカルアカウントに切り替える

Microsoftアカウントからローカルアカウントに切り替える際は、Windowsからサインアウトする必要があります。作業中のデータがある場合は、必ず保存してから切り替えを行ってください。

ローカルアカウントへの切り替え

1. 「チャーム」を表示し、「設定」をクリックします。

メモ　「Windows」キーを押しながら、「C」キーを押すことで、チャームを表示させることができます。

2. 画面右下「PC設定の変更」をクリックします。

3. 「アカウント」をクリックします。

4. 「お使いのアカウント」をクリックし、「関連付けを解除する」をクリックします。

5. Microsoftアカウントのパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

6. 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「次へ」をクリックします。

7. 「サインアウトと完了」をクリックします。

8. 自動的にサインアウトします。

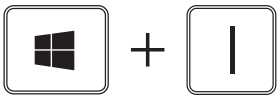
Chapter 7

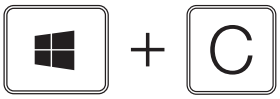
Windowsのショートカットキー

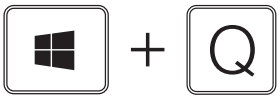
キーボードを使ったショートカットキー一覧　7-1

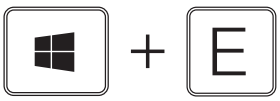
キーボードを使ったショートカットキー一覧

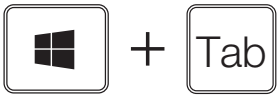
Windowsキーを使ったショートカット一覧

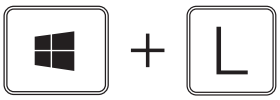

設定チャームを表示します。

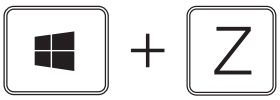

チャームを表示します。

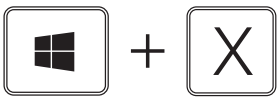

検索チャームのファイル検索を表示します。


Windowsデスクトップに切り替え、エクスプローラーを表示します。

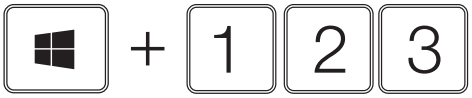

起動中のアプリ一覧を表示します。

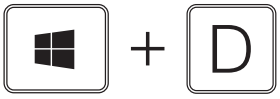

パソコンをロックし、ロック画面を表示します。

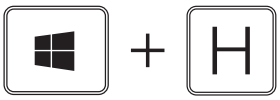

アプリバーを表示します。

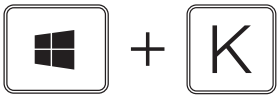

コントロールパネルにある、頻繁に使う管理メニューを表示します。

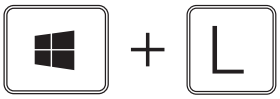
スタート画面の表示/非表示

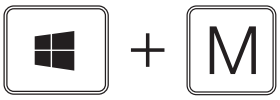

タスクバー上の特定位置のアプリに移動します。

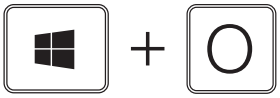

デスクトップ画面を表示します。

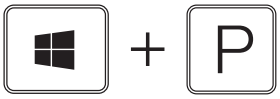

共有チャームを開きます。

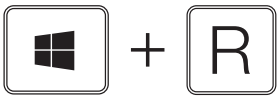

デバイスチャームを開きます。

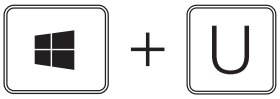

ロック画面を表示します。

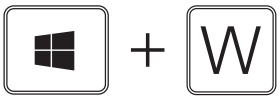

デスクトップ上のすべてのウィンドウを最小化します。

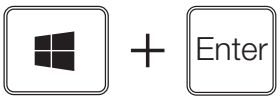

画面の向きをロックします。


セカンドディスプレイチャームを表示します。


「ファイル名を指定して実行」を表示します。


コンピューターの簡単操作センターを開きます。


検索チャームの設定検索を表示します。


ナレーターが起動します。